

5 英 語

1 編集の具体的方針

盲学校中学部英語科で使用する教科書は、文部科学省検定済教科書の一つである「NEW HORIZON English Course」(東京書籍)を原典とし、点字を触読する生徒の学習場面を配慮して編集したものである。そのため、教科書の内容は原典にほぼ忠実に点訳したが、絵などを用いた「基本練習」などでは、生徒に理解しやすい形式に改めた。

表紙裏などの付録の配列順序や、各 UNIT の内容の割り付け順序などは、点字触読の観点から多少変更してあるが、主な内容の提示順序は、原典と同じである。

また、「資料編」は、第1巻が「英語点字の入門」(「英語点字略字の解説」を含む。)、第2巻が「英語の基本的知識」、第3巻が「英会話のための用例と単語」、第4巻と第5巻が「英和単語集」で構成されている。

日本文の点字表記の規則については、日本点字委員会編集・発行の「日本点字表記法2001年版」に従っている。英語の点字表記については、アメリカの国会図書館が発行している“English Braille American Edition”(revised 1994)によるとともに、発音記号については、Daniel Jones 式の万国音標文字の点字表記によった。

2 編集の具体的内容

(1) 各巻の分け方

第1学年=全3巻, 第2学年=全3巻, 第3学年=全3巻とした。

1の1, 2及び3←この段階では英語点字略字は使用しなかった。

2の1 この巻から点字略字として1マスの短縮語 (one-cell whole-word contractions) —but, can, and, child, this などのように単語全体を1マスの記号で表したものを34個を使用した。and, for, of, the, with の短縮語及びaは, 意味の続き具合に関係なくマスを続けて書くことができるが, この巻からこの原則を取り入れた。

2の2 この巻から2マスの短縮語 (initial-letter contractions) —day, word, cannot などのように単語全体を前置点と頭文字などを組み合わせた2マスの記号で表したものを33個を追加した。

2の3 この巻では省略語 (abbreviations) —about, above, could, myself, receive などのような単語を一部のつづり字で表したものを76個を表示し, 必要なものから使用した。なお, 用法として, これらの省略語を単語の一部として使用する場合を含む。

3の1 この巻から下がり記号の短縮語 (whole-word lower-sign contractions) —be, to など単語全体を下がり記号で表すもの9個を使用した。

3の2 この巻から1マスの短縮語 (one-cell part-word contractions) —and, ch, ble などのように単語の一部のつづり字を1マスの記号で表したものを18個と, 2マスの短縮部 (two-cell final-letter contractions) —ound, -ment, -ation のように単語の語中や語尾のつづり字群を, 前置点と組み合わせた2マスの記号で表すものを14個を追加した。

3の3 下がり記号の短縮部 (part-word lower-sign contractions) —dis-, -ea-, -bb- のように単語の一部のつづり字群を下がり記号で表すものを10個を追加した。

(2) 各巻における内容の配列

1-1

世界のことばで「こんにちは」と「ありがとう」

アルファベット一覧

地図 アメリカ, カナダ, オーストラリア

Hello, English! 英語であいさつしよう

Hello, English! 教室で使われる英語

Hello, English! ジェスチャーを使おう

Hello, English! アルファベットを覚えよう

Hello, English! 単語を言ってみよう

Hello, English! この教科書の主な登場人物たち

UNIT 1 ようこそ, グリーン先生

Speaking Plus 1 忘れ物

UNIT 2 学校で

Words Plus 1 数字の言い方

UNIT 3 グリーン先生の初授業

Listening Plus 1 何のCM?

Speaking Plus 2 車内で

Book 1 WORD LIST

1-2

UNIT 4 日本大好き

Writing Plus 1 自己紹介

UNIT 5 ハンバーガーショップで

Words Plus 2 曜日の言い方

UNIT 6 南半球からのメール

まとめの練習 1 人について話そう 1

Listening Plus 2 外国からの友達

Speaking Plus 3 道案内

UNIT 7 アメリカの学校から

Writing Plus 2 学校のホームページ

Speaking Plus 4 一日の生活

1-3

UNIT 8 旅立ちの日

まとめの練習 2 人について話そう 2

Listening Plus 3 海外旅行

UNIT 9 ようこそオーストラリアへ

まとめの練習 3 記念日ビデオを作ろう

Speaking Plus 5 電話の会話

UNIT 10 夏の冬休み

まとめの練習 4 いろいろな質問をしよう

Speaking Plus 6 ちょっとお願い

Reading Plus 由美の夢

Listening Plus 4 ふしぎな夢

Words Plus 3 月日の言い方

UNIT 11 それぞれのお正月

まとめの練習 5 日本の昔話

Listening Plus 5 ある日曜日

Writing Plus 3 絵はがき

単語の読み方

手紙・はがきの書き方

ローマ字 (ヘボン式)

朝起きてからねるまで

2-1

英語点字略字の解説 I

Warm-up A Speech and a Game

UNIT 1 Hiking with Ms. Green

Listening Plus 1 バードウォッチング

まとめの練習 1 待ち合わせ

LET'S CHAT 1 昨夜のテレビ番組

Writing Plus 1 日記

UNIT 2 Yumi Goes Abroad
Listening Plus 2 海外旅行
Speaking Plus 1 先生にお願い
Book 1-2 WORD LIST

2-2

英語点字略字の解説 II

UNIT 3 Let's Learn with Computers
Listening Plus 3 家事アンケート
Writing Plus 2 メール
Multi Plus 1 わたしの夢
Reading Plus 1 The Emerald Lizard
Multi Plus 2 夏休みの思い出

UNIT 4 Homestay in The United States
Listening Plus 4 健のホームステイ
Speaking Plus 2 道案内

UNIT 5 A Park or a Parking Area?
Listening Plus 5 テレビ番組
Speaking Plus 3 コンサートに行こう
まとめの練習 2 朝のお手伝い

LET'S CHAT 2 週末の予定
Reading Plus 2 英語劇 Chris and the Puppets
Speaking Plus 4 英語劇のあとで
Multi Plus 3 天気予報
不規則動詞変化表
Plus 補充教材

2-3

英語点字略字の解説 III

UNIT 6 Christmas Is Coming
Listening Plus 6 Happy Christmas
Writing Plus 3 グリーティングカード
Multi Plus 4 わたしたちの街
UNIT 7 My Favorite Movie
Listening Plus 7 映画ヒットチャート
まとめの練習 3 クイズを作ろう
LET'S CHAT 3 好きな歌手
Multi Plus 5 わたしの好きなこと・もの
Reading Plus 3 Can Anyone Hear Me?
Speaking Plus 4 電話の会話
形容詞・副詞比較変化表

「歌1」 Silent Night

「歌2」 Take Me Out to the Ball Game

対話のマナー

英語って簡単!

3-1

英語点字略字の解説 IV

Warm-up My Country.

UNIT 1 Let's Learn Braille

Listening Plus 1 ボランティア活動

まとめの練習 1 ニュースのヘッドライン

LET'S CHAT 1 ヒット商品

Multi Plus 1 日本の風物

UNIT 2 Don't Throw It Away

Listening Plus 2 ニュースレポート

Writing Plus 1 ファンレター

Speaking Plus 1 電話の会話

Multi Plus 2 修学旅行

Book 1-3 WORD LIST

3-2

英語点字略字の解説 V

UNIT 3 Children of the World

Listening Plus 3 バングラデシュ

まとめの練習 2 プロフィールを紹介しよう

LET'S CHAT 2 行ったことある?

Speaking Plus 2 食卓で

Reading Plus 1 A Mother's Lullaby

Writing Plus 2 詩

Multi Plus 3 留守番電話と伝言

UNIT 4 An American Rakugo-ka

Listening Plus 4 落語家ビル・クラウリー

Speaking Plus 3 道案内

Multi Plus 4 海外旅行

不規則動詞変化表

3-3

英語点字略字の解説 VI

UNIT 5 Video Games, For or Against?

Listening Plus 5 優先席にすわってはだめ?

Writing Plus 3 わたしの意見

Speaking Plus 4 買い物

Multi Plus 5 スキット作り

UNIT 6 20th Century Greats

Listening Plus 6 20世紀のスター

まとめの練習 3 敬老の日のプレゼント

LET'S CHAT 3 知っているタレント
Speaking Plus 5 病院で
Reading Plus 2 The Fall of Freddle the Leaf
Writing Plus 4 ◀卒業記念の寄せ書き
Plus 補充教材

形容詞・副詞比較変化表

「歌1」 Let It Be

「歌2」 Over the Rainbow

(3) 資料編の構成

資料編 第1巻 (英語点字の入門)

英語点字の入門について

- 1 点字の配列表
- 2 アルファベットと発音
- 3 ローマ字の書き方
- 4 句読符と点字独特の記号
- 5 発音記号の書き方
- 6 音節の区切り方
- 7 主な接頭語と接尾語
- 8 英語点字略字の解説 I
- 9 英語点字略字の解説 II
- 10 英語点字略字の解説 III
- 11 英語点字略字の解説 IV
- 12 英語点字略字の解説 V
- 13 英語点字略字の解説 VI
- 14 英語点字略字段階別一覧表
- 15 英語点字略字アルファベット順一覧表
- 16 英語点字略字字形別一覧表

資料編 第2巻 (英語の基本的知識)

英語の基本的知識について

- 1 英語の発音方法
- 2 英語の発音とつづり字
- 3 英語の基本文型
- 4 英語の修飾語と修飾される語との関係
- 5 語源から単語を覚える方法
- 6 中学基本英単語・熟語 (品詞別・類別)

資料編 第3巻 (英会話のための用例と単語)

英会話のための用例と単語について

- 1 英会話の用例
 - (1) 紹介 (Introduction)
 - (2) 学校案内 (Showing around the School)
 - (3) 盲学校と点字 (School for the Blind and Braille)

- (4) 通学と寄宿舎 (Coming to School and the Dormitory)
- (5) ある日の英語の授業 (English Class at a Day)
- (6) 学校給食 (School Lunch)
- (7) 盲人スポーツ (Sports for the Blind)
- (8) 夏休みの思い出 (Memories of Summer Vacation)
- (9) 修学旅行にて (On a School Trip)
- (10) 将来の夢 (Future Dreams)

2 英会話で活用できる単語

- (1) 盲学校で使われる身近な語
- (2) 体の部分と健康に関する語
- (3) 衣食住に関する語
- (4) 自然現象に関する語
- (5) 環境に関する語
- (6) 人間関係に関する語
- (7) 情報に関する語
- (8) 国名・地域名に関する語
- (9) 頭字略語

資料編 第4巻 (英和単語集)

英和単語集について

A～L

資料編 第5巻 (英和単語集)

M～Z

※資料編第1巻, 第2巻および第3巻は, 教師用の活字書がないので, 点字教科書の原文と同一の内容を「3 資料編の内容」に掲載した。また, 資料編第4巻および第5巻の「英和単語集」については, 活用の仕方を説明した「英和単語集について」を掲載した。

(4) 本文

本文は原典において1行あいているときは, 点字でも行あけした。

本文におけるイタリック体の語句は, 第1学年, 第2学年にあってはコーテーション・マーク (⌈～⌋) でくくり, 第3学年にあってはイタリック符 (⌈～) を前置した。

登場人物名が日本語であるときは, 次のようにした。

(例: 1年P.42)

□□⌈テンイン⌋⌈⌋□Large or small?

□□Demi⌈⌋□Large, please.

(5) リード文

原典においてリード文が見出しの前に出ているものと, あとに出ているものがあるが, 記す順序は原典のとおりとした。

(6) 語句

「覚えたい語句」, 「その他の語句」は, 本文の前 (リード文のあるときは, リード文のあと) に置いた。第1学年～第3学年を通じて, 語 (句) ごとに改行した。フルスペリング, (□⌈⌋□) を記してから) 新出略字の順とした。語 (句) に訳語が付されているときは, その訳語を第1カギ (⌈～⌋) でくくり, 訳語中の () は第1カッコ (⌈～⌋) で, [] は第2カッコ

年 P. 68) は、点図で表記した。2年 P. 42の区切りを示す／は□:::□を用いた。

[i] ページ欄外下の発音は、次のように記した。

(例：1年 P. 18～P. 19)

□□□□ハツオン

□□soccer□team

□□:::□→□::th::is□□::th::at

□□:::□→□::th::ank

(9) 一つの UNIT 内で、Starting Out などの項目が変わるときは、②⑤の点の連続線を10マス引いた。また本文において UNIT などの終わったときは、②④⑤⑥の連続線を10マス引いた。この場合は、紙を変えて、次の UNIT 等に移る。

(10) WORD LIST

WORD LIST の訳語は第1カギ (:::~::) でくくり、訳語中の () は第1カッコ (:::~::) に、[] は第2カッコ (:::~::) に、【 】は第2カギ (:::~::) にくくった。

WORD LIST の品詞表示において、(カン) は冠詞を、(カ) は間投詞を示す。

原典において、特に覚えたい語であることを示す太字、「学習指導要領」で指定されている語であることを示す◆、既習学年を示す①、②、およびページを表す数字は省略した。

(11) 歌

表題と楽譜の間は、1行あけた。楽譜に付されているコードネームは省略した。楽譜と歌詞の間は、1行あけた。歌詞は、詩の行ごとに1マス目より書き始め、長くて1行に書ききれない場合は、次の行の3マス目から書き続けた。

(12) 表紙見返しの記事及び写真、挿絵、図などの扱い

各学年の写真や挿絵は、原則として省略したが、内容と直接かかわる場合、図についてはそれぞれの箇所言葉で示した。

(13) ページ数

1-1 では、UNIT 1 から1ページを打ち始め、その前の記事は「マエ1」、「マエ2」…のように記した。その他の巻は、目次の次から1ページを打ち始めた。

1-1, 2-1, および3-1の巻末のWORD LISTは、「ゴク1」、「ゴク2」…のように記した。

点字教科書のページは、奇数右ページの右上欄外に示した。また、原典のページは奇数右ページの左上欄外に:::~:::に挟んで示した。その場合、原典のページは各学年とも、UNIT 1 からWORD LISTの前までのものを示した。

なお、「資料編」のページの打ち方は、第1巻、第2巻および第3巻の各巻についてはそれぞれ1ページから打ち始め、第4巻および第5巻の英和単語集については通しページとした。

3 資料の内容

(1) 資料編 第1巻 (英語点字の入門)

英語点字の入門について

英語の点字は、基本的には普通の文字と同じようにアルファベットと句読符から成っています。それに加えて、点字の読み書きを速くするために、点字独特の略字を加えています。そこで、中学部の第1学年ではアルファベットと句読符を学び、第2学年から第3学年が終了するまでの間に、六つの段階に分けて点字の略字を学ぶことになっています。高等部の教科書およびアメリカやイギリスの書籍では、これらの点字略字がすべて使われていますので、中学部の間に、出てきた順序に従って十分に学んでおくことが必要です。この資料編の第1巻には、英語の点字に関する事柄がほとんどすべてまとめられています。

1の「点字の配列表」は、英語点字を学ぶ上での基本となるものです。特に、点字略字の成り立ちの基本となっています。

2の「アルファベットと発音」から5の「発音記号の書き方」までは、点字略字を含まない英語の書き方について、項目ごとにそれぞれ解説してあります。

6の「音節の区切り方」と7の「主な接頭語と接尾語」は、第3学年の最後に学ぶ点字略字の第5段階と第6段階の規則を理解し、点字略字を正しく書き表すために参考になるものです。

8から13までは、点字略字の第1段階から第6段階までの解説です。

14から16までは、英語の点字略字の一覧表です。そのうち14の「段階別一覧表」は、教科書に出てくる順序にまとめてあります。15の「アルファベット順一覧表」は、すべての点字略字を辞書と同じようにアルファベットの順番に並べてありますので、自分が書きたい単語を点字略字でどう書けばよいかを調べたいときに活用してください。16の「字形別一覧表」は、すべての点字略字を字の形の順番に並べてありますので、読み方が分からない点字略字に出会ったとき、そのつづり字を調べるために活用してください。

なお、字の形の配列順序は、1の「点字の配列表」の順序に並べられています。

資料編は、高等部でも十分に活用できますので、繰り返していねいに学びましょう。

1 点字の配列表

6点点字は、1825年にフランス人ルイ・ブライユ (Louis Braille) によって考案された盲人用触読文字である。英語では考案者にちなんで、点字のことをブレイル (Braille) といっている。6点点字は一マス6点であるから、64とおりの組合せとなる。ルイ・ブライユは、マスあけの記号を除いた63を次の7行に配列した。

第1行	⠠	⠡	⠢	⠣	⠤	⠥	⠦	⠧	⠨	⠩
第2行	⠪	⠬	⠭	⠮	⠯	⠰	⠱	⠲	⠳	⠴
第3行	⠶	⠷	⠸	⠹	⠺	⠻	⠼	⠽	⠾	⠿
第4行	⠠	⠡	⠢	⠣	⠤	⠥	⠦	⠧	⠨	⠩
第5行	⠪	⠬	⠭	⠮	⠯	⠰	⠱	⠲	⠳	⠴
第6行	⠶	⠷	⠸	⠹	⠺	⠻				
第7行	⠠	⠡	⠢	⠣	⠤	⠥	⠦			

1行目は、上の四つの点の組合せの15の中から、下がり記号と4・5の点だけの組合せを除いたものである。2, 3, 4行目は、1行目の記号にそれぞれ3の点, 3・6の点又は6の点を加えたものである。5行目は、1行目と同じ形をそのまま下に下げたものである。このように1・4の点を用いない記号を下がり記号という。残りの13のうち、3の点を含むものを6行目とし、4・5・6の点の組合せを7行目に配列した。

ルイ・ブライユは、フランス語のアルファベットに1, 2行目と3行目の半分までを当てた。しかし、ここにはWがない。もともとWは、Uがダブった「ダブルU」か、Vがダブった「ダブルV」などとして扱われていたので、記号を当てなかった。後に、英国人の忠告を入れてWを加えたが、それが英語やドイツ語などのアルファベットにも使われるようになった。

5, 6行目の下がり記号は、句読符として用いられ、7行目は、点字独特の記号として用いられている。数字は、1行目に数符を前置して表している。また、楽譜では、1行目から4行目までの最初の3個を除いたものを、それぞれの長さの音符に当てている。また、7行目の記号を、高さを表す音列記号として用いている。

英語の点字略字もこの表をもとに作られている。アルファベットの中からa, i, oを除いたものと、その他の記号から6行目の□⠠□及び7行目の記号を除いたものは、すべて一マスの略字として用いられている。また、7行目の□⠠□以外の六つも二マスの略字の前置点となっている。さらに、5行目の記号と□⠠□は、句読符として用いられている上に、下がり記号の略字としても用いられている。

なお、日本点字においても、考案者の石川倉次は、この表の1行目から5の点を含むものを除いてア行とし、それに3・5・6の点を組み合わせたものを加えて、その他の各行を作っている。

以上述べたことから、この配列表が点字記号の基礎であることは理解されよう。

2 アルファベットと発音

アルファベットは、東地中海地方で考案され、ギリシア・ローマ時代にヨーロッパ全域に広まった。今では世界各地で用いられ、日本語のローマ字や中国語のラテン文字などにも用いられている。

英語では、普通、大文字と小文字が、活字体と筆記体の二とおりに表され、これらの4種類は、それぞれ26文字から成る。点字には、活字体と筆記体の区別はなく、大文字と小文字も次のように小文字に大文字を前置するだけで区別している。

⠁	⠃	⠉	⠇	⠑	⠋	⠒	⠕	⠗	⠞
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
⠅	⠇	⠏	⠎	⠕	⠏	⠑	⠗	⠞	⠞
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
⠏	⠇	⠏	⠎	⠕	⠏				
u	v	w	x	y	z				
⠁	⠃	⠉	⠇	⠑	⠋	⠒	⠕	⠗	⠞
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
⠅	⠇	⠏	⠎	⠕	⠏	⠑	⠗	⠞	⠞
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
⠏	⠇	⠏	⠎	⠕	⠏				
U	V	W	X	Y	Z				

これらを次の5グループに分けて、アルファベットと発音の関係を学ぼう。

1 長くのばすと「イー」になるもの

⠃	⠉	⠇	⠏	⠑	⠗	⠞	⠞
b	c	d	g	p	t	v	z

これらの読みから後ろの「イー」という音をとると、これらの文字の表す発音になる。

(例)

⠃	⠁	⠞	⠉	⠑	⠎	⠑	⠎	⠞	⠑	⠞
bat	bed	cement	center	desk						
⠇	⠞	⠏	⠑	⠎	⠑	⠎	⠞	⠞	⠞	⠞
doll	giants	page	pen	taxi						
⠞	⠞	⠏	⠑	⠎	⠑	⠎	⠞	⠞	⠞	⠞
ten	vitamin	zero	zoo							

ただし、cには「ク」から「ウ」を、gには「グ」から「ウ」をとった発音がある。

(例)

⠉	⠁	⠞	⠑	⠎	⠑	⠎	⠞
car	cock	gas	golf				


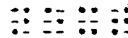
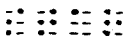


2 前に「エ」という音がつくもの

⠋	⠇	⠏	⠎	⠑	⠞
f	l	m	n	s	x

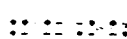
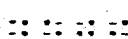
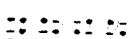
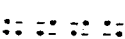
これらの読みから前の「エ」という音をとると、これらの文字の表す発音になる。

(例)

⠋	⠁	⠞	⠑	⠎	⠑	⠎	⠞	⠞	⠞
fan	fox	lamp	lip	map	mix				






 net next star sun box

ただし、sは、濁る場合もある。


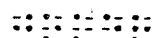

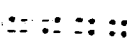
(例)    
 fuse news nose rise

3 後ろに「エイ」という音のつくもの








 j k

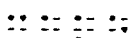
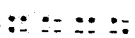
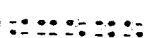
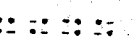
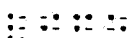
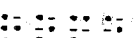
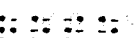


これらの読みから後ろの「エイ」という音をとると、これらの文字の表す発音になる。

(例)    
 jam joker key king

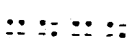
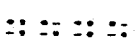
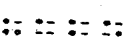

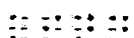

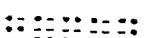
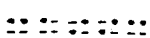
4 英語の母音を表すもの






 a e i o u









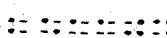

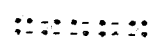




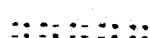
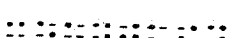
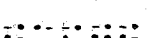
これらが、アルファベットの読みと同じように発音されるとき、その後ろに発音されないeが子音をはさんでつくことが多い。

(例)    
 cake face scene fine
    
 life home rose huge use






ただし、発音しないeがついても読みが異なる場合と、eがつかなくても、これらと同じ発音を表す場合がある。

(例)    
 come done rule April
   
 kind go human music

また、これらの文字は、単独又は二つ以上の組合せでいろいろな発音を表す。

(例)     
 bat egg ink pot put
    
 main August sea beauty bee
    
 field boat coin book pool
  
 young mountain suits

5 その他の文字






 h q r w y

これらのうち、hは日本語のハ行に、rはラ行に、wはワ行に、yはヤ行に似た発音を表すこともある。

(例) ⠠⠏⠠⠗⠠⠗ ⠠⠏⠠⠗ ⠠⠏⠠⠗⠠⠗ ⠠⠏⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗
 hand hen hint hot rat
 ⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗
 red rice road run wax wet
 ⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗
 wit wood yard yes you

これらの文字は、前のグループの文字と組み合わせて、長母音や二重母音又は三重母音を表す場合もある。

(例) ⠠⠏⠠ ⠠⠏⠠ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠏⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗
 ah oh carpenter hair fire
 ⠠⠏⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗
 horn turkey dawn new town
 ⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗
 day eye boy buyer

yにはiと同じ用い方があり、qはuと組み合わせて用いられる。

(例) ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗
 bicycle city my type
 ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗
 quarter queen quick quite

hは他の文字に添えて別の子音をも表すことがある。

(例) ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗
 church headache ghost
 ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗
 enough philosophy telephone
 ⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗
 she ship the thanks white

6 子音と子音の結び付き

日本語と違って、英語では次のような子音と子音の結び付きがみられる。

(例) ⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗
 back bank camp dress
 ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗
 gentle hand sky slip small
 ⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗
 snap song spring stamp
 ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗
 strong swim text tramp

中でも、他の文字とlかrの組合せには、特に発音上注意を要する。

(例) ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗
 block brick clay cry close
 ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗ ⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗
 cross flesh fresh glass

grass play pray

7 発音されないつづり字

英語には、歴史的変化などで発音されないつづり字がある。

(例) comb eight knock lake
often Wednesday write

3 ローマ字の書き方 (平成5年3月、文部省初等中等教育局特殊教育課発行「盲学校中学部点字教科書編集資料」参照)

4 句読符と点字独特の記号

A 句読符 (Punctuation Marks)

英語の単語のつづりは続けて書き、単語と単語の間は一マスあけて書く。さらに、それ以上のまとまりで必要な場合、句読符を用いる。点字の句読符の使用法は、普通の文字の場合と同じである。そこでコンピュータのフルキーボードの場合も、その順序に対応する記号のキーを打つだけでよいのである。

1 コンマ (,)

最も短い句切りに用いる。

(例)

I can swim, too.
(私も泳げます。)

2 セミコロン (;)

二つの文が重なってできた文の前の部分の終わりなどに用いる。

(例)

Sleep is a thief; it steals
half one's life.
(むだな眠りはどろぼうで、人の人生の半分を盗むのだ。)

3 コロン (:)

セミコロンよりも大きな区切りに用いる。なお、固有名詞などの特別の場合を除けば、コンマやセミコロンの後ろは、一マスあけて小文字で書き始めるが、コロンの後ろは、一マスあけた後、文の初めと同じく再び大文字で書き始める。すなわち、シナリオなどの場合は、配役名などの後ろにコロンを打ち、一マスあけて、せりふを大文字で書き始めるのである。

中点（5の点）や読点（5・6の点）は半マス後ろにずらしてある。また、中点や読点の用法は、コンマ・セミコロンのように厳密ではなく、点字は特にあいまいだった。

2 英語の疑問符（2・3・6の点）と日本語の疑問符（2・6の点）

英語の疑問符は、enの略字□⠠□と重なるため、他の国とは別な記号□⠠□に変えている。

3 コーテーションマークとかぎ類

□⠠□ → □⠠□⠠□ または □⠠□⠠□

“ ” 「 」 『 』

□⠠□ □⠠□ → □⠠□ □⠠□

‘ ’ 『 』

などのように、英語と日本語の記号は異なっているが、撥音符の□⠠□（ん）と重なるのでやむを得ない。

4 角括弧 □⠠□⠠□⠠□（英語）と □⠠□⠠□⠠□（日本語）

ワ行の「ワ」のため、点が上がっている。

5 ダッシュと棒線

□⠠□⠠□ → □⠠□ □⠠□ などと高さやマスあけが異なるが、

ダッシュ 棒線

かぎや長音符との混同を避けるためやむを得ない相違点である。

6 エリプシスと点線

□⠠□⠠□ → □⠠□ □⠠□ など、その高さが異なっているが、

エリプシス 点線

ワ行の「ワ」との混同を避けるためやむを得ない。

7 文字符と外文字符及び外国語引用符

□⠠□は、英語では点字略字ではないアルファベットそのものであることを示すが、日本語では外国の文字であることを示し、意味が異なる。また、□⠠□⠠□は、英語ではコーテーションマークだが、日本語では外国の語句や文字を表す記号である点が高まっている。

☆ 辞書や参考書又は試験問題などで、これらが混ざって出てきたとき、その使い分けを注意する必要がある。

5 発音記号の書き方

単語の発音を表す記号として、万国音標文字（international phonetic alphabet）が広く用いられている。点字の万国音標文字は、Daniel Jones 式を基に、1933年にイギリスで決められたものが基になって日本では用いられている。

A 発音記号に伴う符号

1 発音記号符 □⠠□⠠□

発音記号の前後を囲む。

2 第一ストレス符（primary stress sign） □⠠□⠠□（4・5・6の点）

最も強いアクセントの母音の前に置く。

3 第二ストレス符（secondary stress sign） □⠠□⠠□（4・5の点）

二番目のアクセントの母音の前に置く。

B 母音 (Vowel)

⠠⠠⠠⠠	-	⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[i:]	see	[si:]	
⠠⠠⠠	-	⠠⠠	⠠⠠⠠⠠
[i]	in	[in]	
⠠⠠⠠	-	⠠⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[e]	bread	[bred]	
⠠⠠⠠	-	⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠
[æ]	cat	[kæt]	
⠠⠠⠠⠠	-	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[ɑ:]	father	[fɑ:ðə]	
⠠⠠⠠	-	⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[ɑ]	drop	[drɑp] (米)	
⠠⠠⠠	-	⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[ɔ]	drop	[drɔp] (英)	
⠠⠠⠠⠠	-	⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[ɔ:]	ball	[bɔ:l]	
⠠⠠⠠	-	⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[u]	foot	[fʊt]	
⠠⠠⠠⠠	-	⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[u:]	moon	[mu:n]	
⠠⠠⠠	-	⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠
[ʌ]	cup	[kʌp]	
⠠⠠⠠⠠	-	⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[ə:]	bird	[bɜ:d]	
⠠⠠⠠	-	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[ə]	America	[ə'merikə]	
⠠⠠⠠⠠	-	⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[ei]	face	[feis]	
⠠⠠⠠⠠	-	⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠
[ou]	go	[gou]	
⠠⠠⠠⠠	-	⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[ai]	time	[taim]	
⠠⠠⠠⠠	-	⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[au]	house	[haus]	
⠠⠠⠠⠠	-	⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠
[ɔi]	boy	[bɔi]	
⠠⠠⠠⠠	-	⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[iə]	here	[hiə]	
⠠⠠⠠⠠	-	⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[ɛə]	hair	[hɛə]	

ㄉㄛㄠ - ㄉㄛㄠ ㄉㄛㄠ
 [ɔə] door [dɔə]
 ㄆㄛㄠ - ㄆㄛㄠ ㄆㄛㄠ
 [uə] poor [puə]

C 子音 (Consonant)

ㄆ - ㄆ ㄆ
 [p] pen [pen]
 ㄅ - ㄅ ㄅ
 [b] box [bɔks]
 ㄊ - ㄊ ㄊ
 [t] tree [tri:]
 ㄉ - ㄉ ㄉ
 [d] desk [desk]
 ㄎ - ㄎ ㄎ
 [k] clock [klɔk]
 ㄍ - ㄍ ㄍ
 [g] good [gud]
 ㄊʃ - ㄊʃ ㄊʃ
 [tʃ] chair [tʃɛə]
 ㄉʒ - ㄉʒ ㄉʒ
 [dʒ] jump [dʒʌmp]
 ㄊs - ㄊs ㄊs
 [ts] let's [lets]
 ㄉz - ㄉz ㄉz
 [dz] birds [bɜ:dz]
 ㄇ - ㄇ ㄇ
 [m] me [mi:]
 ㄋ - ㄋ ㄋ
 [n] net [net]
 ㄋ - ㄋ ㄋ
 [ŋ] sing [siŋ]
 ㄌ - ㄌ ㄌ
 [l] lily [lɪli]
 ㄈ - ㄈ ㄈ
 [f] four [fɔə]
 ㄎ - ㄎ ㄎ
 [v] of [ɔv]
 ㄊ - ㄊ ㄊ
 [θ] thank [θæŋk]
 ㄊ - ㄊ ㄊ
 [ð] this [ðis]

(2) その他の一マスの短縮語

- ⋮ - and ⋮ - for ⋮ - of ⋮ - the
- ⋮ - with ⋮ - child ⋮ - shall
- ⋮ - this ⋮ - which ⋮ - out
- ⋮ - still (まだ)

2 使い方

これら34語は、単語全体を一マスの記号で表す短縮語である。一マスであっても文字ではなく単語であるから、その前後ろを一マスあける。ただし、次の場合は、マスあけしない。

- ① コンマ, セミコロン, コロン, ピリオドなどの句読符とは続ける。
- ② 大文字, イタリック符など点字独特の記号とは続ける。
- ③ a および and, for, of, the, with の五つの短縮語が連続する場合, 互いに続け合う。

(使い方の例)

⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮ ⋮ ⋮ ⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮ ⋮⋮ ⋮⋮
 ⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮ ⋮ ⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮ ⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮

→ Tom : Which do you like better, this or that?
 Bill : I like this better. It's very nice.

(トム：あなたは、これとあれと、どちらが好きですか。
 ビル：このほうが好きです。とてもすてきだよ。)

⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮ ⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮
 → He can't go out. But we will go out.

(彼は、外出できません。でも、ぼくたちは、外出します。)

⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮
 → What shall I do?

(どうしようか。)

⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮ ⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮
 → You can go with us.

(あなたは、私たちといっしょに行けます。)

⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮ ⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮ ⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮
 → "You're not so big as that boy."

(君は、あの男の子ほどそんなに大きくはない。)

⋮⋮⋮ ⋮ ⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮ ⋮ ⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮
 ⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮
 → The child of the man wants to have a cat with black eyes and
a dog with a long tail.

(その男の人の子供は、黒い目の猫と長いしっぽの犬を、飼いたがっている。)

⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮
 → A nation is for the people's welfare.

(国家は人々の福祉のためにあるのです。)

(使ってはならない例)

⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮(He likes apples.) の likes を ls と書いてはな
 らない。また, ⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮ (He goes out.) の goes を ges と書いて

→ Their father had many younger sisters.

(彼らの父親には、妹がたくさんいました。)

→ There are some people under the tree.

(その木の下に何人かの人があります。)

→ Those people cannot go there.

(あの人たちは、そこへ行けません。)

→ These people are very young.

(この人たちは、とても若い。)

→ Many boys and girls are here and there.

(たくさんの男の子や女の子があちこちにいます。)

→ All right, Mother!

(いいよ、お母さん。)

→ Where do you come from? Where do you go?

(どこから来て、どこへ行くの。)

→ Once upon a time, there was an old man.

(むかし、むかし、ひとりのおじいさんがいました。)

→ Whose one is this?

(これは、だれのものですか。)

→ The dog ran through the woods.

(その犬は、森を走り抜けた。)

→ I cannot work there.

(私は、そこでは働けない。)

→ Have you ever seen the young man?

(今までにその青年に会ったことがありますか。)

→ May I ask you a question?

(質問してもいいですか。)

→ Asia is a part of the world.

(アジアは、世界の一部です。)

- ⋮⋮⋮⋮⋮ → Sunday
- ⋮⋮⋮⋮⋮ → everybody
- ⋮⋮⋮ → named
- ⋮⋮⋮⋮ → someone
- ⋮⋮⋮ → party
- ⋮⋮⋮⋮⋮ → part-time
- ⋮⋮⋮ → questions
- ⋮⋮⋮⋮⋮ → sometimes
- ⋮⋮⋮ → works
- ⋮⋮⋮ → characters
- ⋮⋮⋮ → words
- ⋮⋮⋮ → spirits
- ⋮⋮⋮ → theirs
- ⋮⋮⋮⋮⋮ → hadn't
- ⋮⋮⋮ → never

(使ってはならない例)

fever [f i : v ə] (熱情) を⋮⋮⋮と書いてはならない。(※発音注意)

atmosphere [æ t m ə s f i ə] (雰囲気) を⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮と書いてはならない。(※発音注意)

enamel [i n ə m ə l] を⋮⋮⋮⋮と書いてはならない。(※発音注意)

centimeter [s é n t i m i : t ə] を⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮と書いてはならない。(※音節注意)

bounder [b á u n d ə] (成り上がり者) を⋮⋮⋮⋮と書いてはならない。(※音節注意)

sword [s ɔ : d] (刀) を⋮⋮⋮と書いてはならない。(※発音注意)

3 学習のヒント

- (1) 短縮語としての使い方は、二マスも一マスの場合と同じである。
- (2) ⋮⋮⋮⋮ (named), ⋮⋮⋮⋮⋮⋮ (sometimes) などは、もとの発音を残し、意味も明瞭だから用いてもよいが、⋮⋮⋮⋮⋮⋮ (enamel), ⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮ (centimeter) などは、発音も異なり、音節や語の構成要素の区切り目を越えるので、単語の一部の短縮、すなわち、短縮部に用いることはできない。
- (3) 「5の点にdは、day」などと友達と交替で当て合うのもよい。
- (4) 意味と関連させて記憶するのもよい。

(参考例)

- ⋮⋮⋮ (here) ⋮⋮⋮ (there) ⋮⋮⋮ (where)
- ⋮⋮⋮ (father) ⋮⋮⋮ (mother)
- ⋮⋮⋮ (many) ⋮⋮ (more)
- ⋮⋮ (can) ⋮⋮⋮ (cannot)
- ⋮⋮ (have) ⋮⋮⋮ (had) ⋮⋮⋮⋮⋮⋮ (had't)
- ⋮⋮⋮ (know) ⋮⋮⋮⋮⋮ (known) ⋮⋮ (knowledge)
- ⋮⋮ (this) ⋮⋮⋮ (these)

⠠⠠⠠ (that) ⠠⠠⠠⠠ (those)
 ⠠⠠⠠⠠ (they) ⠠⠠⠠⠠ (their) ⠠⠠⠠⠠ (them)
 ⠠⠠⠠⠠⠠ (theirs)

10 英語点字略字の解説Ⅲ

1 省略語 (Abbreviations)

(1) 最初の二マスを残して後ろを省略する場合

⠠⠠⠠ - about
 ⠠⠠⠠ - according (according to ~ …によれば)
 ⠠⠠⠠ - after ⠠⠠⠠ - again ⠠⠠⠠ - also
 ⠠⠠⠠ - because ⠠⠠⠠ - before
 ⠠⠠⠠ - behind (…の後ろに) ⠠⠠⠠ - below (下の方に)
 ⠠⠠⠠ - beneath (…の下に) ⠠⠠⠠ - beside
 ⠠⠠⠠ - between ⠠⠠⠠ - beyond (…の向こうに)
 ⠠⠠⠠ - blind (目の見えない) ⠠⠠⠠ - either
 ⠠⠠⠠ - friend

(2) 骨組みだけを残して、母音などを省略する場合

⠠⠠⠠⠠ - children ⠠⠠⠠⠠ - could
 ⠠⠠⠠⠠ - first ⠠⠠⠠⠠ - good
 ⠠⠠⠠⠠ - him ⠠⠠⠠⠠ - its
 ⠠⠠⠠⠠ - letter ⠠⠠⠠⠠ - little
 ⠠⠠⠠⠠ - much ⠠⠠⠠⠠ - must
 ⠠⠠⠠⠠ - paid (支払った) ⠠⠠⠠⠠ - quick
 ⠠⠠⠠⠠ - said ⠠⠠⠠⠠ - should
 ⠠⠠⠠⠠ - such ⠠⠠⠠⠠ - today
 ⠠⠠⠠⠠ - tomorrow ⠠⠠⠠⠠ - tonight
 ⠠⠠⠠⠠ - would ⠠⠠⠠⠠ - your
 ⠠⠠⠠⠠⠠ - above ⠠⠠⠠⠠⠠ - afternoon
 ⠠⠠⠠⠠⠠ - afterward (後で)
 ⠠⠠⠠⠠⠠ - against (…に向かって)
 ⠠⠠⠠⠠⠠ - braille (点字) ⠠⠠⠠⠠⠠ - great
 ⠠⠠⠠⠠⠠ - together

(3) 最初の3マスを残して、後ろを省略する場合

⠠⠠⠠⠠⠠ - across ⠠⠠⠠⠠⠠ - almost
 ⠠⠠⠠⠠⠠ - already ⠠⠠⠠⠠⠠ - always
 ⠠⠠⠠⠠⠠ - altogether (全く)
 ⠠⠠⠠⠠⠠ - although (…だけれども)
 ⠠⠠⠠⠠⠠ - immediate (直接の)
 ⠠⠠⠠⠠⠠ - necessary ⠠⠠⠠⠠⠠ - neither
 ⠠⠠⠠⠠⠠ - o'clock ⠠⠠⠠⠠⠠ - perhaps (たぶん)

(4) …self, …selves が付く語の一部を省略する場合

⠠⠠⠠⠠⠠ - myself ⠠⠠⠠⠠⠠ - yourself

⋮⋮⋮ - himself ⋮⋮⋮ - herself

⋮⋮ - itself ⋮⋮⋮ - oneself

⋮⋮⋮ - thyself (汝自身)

⋮⋮⋮⋮ - ourselves

⋮⋮⋮⋮ - yourselves

⋮⋮⋮⋮ - themselves

(5) eを省いて現在分詞を作る語の一部を省略する場合

⋮⋮⋮ - conceive (はらむ)

⋮⋮⋮⋮ - conceiving ⋮⋮⋮⋮ - deceive (だます)

⋮⋮⋮⋮ - deceiving

⋮⋮⋮⋮ - declare (宣言する)

⋮⋮⋮⋮ - declaring

⋮⋮⋮⋮ - perceive (気がつく)

⋮⋮⋮⋮⋮ - perceiving ⋮⋮⋮⋮ - receive (受け取る)

⋮⋮⋮⋮⋮ - receiving ⋮⋮⋮⋮ - rejoice (喜ばせる)

⋮⋮⋮⋮⋮ - rejoicing

2 使い方

これら76語の省略語は、ひと続きに書き、行末でも切らない。また省略語の前後ろは、一マスあける。ただし、次の場合は、マスあけしない。

- ① コンマ、セミコロン、コロン、ピリオドなどの句読符とは続ける。
- ② 大文字、イタリック符などの点字独特の記号とは続ける。
- ③ これらから派生した語の場合など、発音や意味を不明瞭にしない限り、接頭語や接尾語と続けて用いる。その際、その派生語が行末に書ききれないときには、つなぎ目で切り、行末にハイフンを添えるが、省略語そのものは2行に分けてはならない。

(使い方の例)

⋮⋮⋮ ⋮⋮ ⋮⋮ ⋮⋮⋮ ⋮⋮ ⋮⋮⋮

→ Your friend must run after him.

(あなたの友達は、彼を追いかけねばならない。)

⋮⋮⋮ ⋮⋮ ⋮ ⋮ ⋮⋮ ⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮

→ Their children will go there before lunch tomorrow.

(彼らの子供たちは、明日昼食前にそこへ行くだろう。)

⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮

→ I'm always hungry every afternoon.

(私は、いつも午後は空腹です。)

⋮⋮⋮ → besides (その上)

⋮⋮⋮⋮⋮⋮ → blindfold (目かくしをする)

⋮⋮⋮⋮⋮ → friendly (親しい)

⋮⋮⋮⋮⋮⋮ → good-bye

⋮⋮⋮⋮ → letters

⋮⋮⋮⋮⋮⋮ → mustn't

⋮⋮⋮⋮⋮ → quicken (いそがせる)

⋮⋮⋮⋮⋮ → hereafter (今後)

⠠⠠⠠⠠ → yours

(使ってはならない例)

drafter [d r æ f t ə] (draft-er) (製図器) を⠠⠠⠠⠠と書いてはならない。

shoulder [ʃ ó u l d ə] (肩) を⠠⠠⠠⠠と書いてはならない。(※発音注意)

3 学習のヒント

- (1) 省略語の使い方は、二マスの短縮語と原則的には同じである。
- (2) 省略語を読み、そのつづりを言ったり、逆につづりを読みながら省略語を言うなどして記憶するのもよい。
- (3) 省略語は数も多く、初歩の読み物では、あまり多く出てこないものもあるので、教科書に出てきた順序に記憶しておくのもよい方法である。
- (4) 意味と関連させて整理するのもよい。

(参考例)

⠠⠠⠠ (blind) ⠠⠠⠠⠠ (braille)
⠠⠠ (child) ⠠⠠⠠ (children)
⠠⠠⠠ (either) ⠠⠠⠠⠠ (neither)
⠠⠠ (can) ⠠⠠⠠ (could) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (couldn't)
⠠⠠ (shall) ⠠⠠⠠ (should)
⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (shouldn't)
⠠⠠ (will) ⠠⠠⠠ (would) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (wouldn't)
⠠⠠⠠ (little) ⠠⠠⠠ (much) ⠠⠠⠠ (many)
⠠⠠ (more)
⠠⠠⠠ (after) ⠠⠠⠠ (before)
⠠⠠⠠ (between) ⠠⠠⠠ (behind) ⠠⠠⠠ (beside)
⠠⠠⠠ (below) ⠠⠠⠠ (beneath) ⠠⠠⠠ (under)
⠠⠠⠠⠠ (already) ⠠⠠⠠⠠ (always)
⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (sometimes)
⠠⠠⠠ (ever) ⠠⠠⠠⠠ (never)
⠠⠠⠠⠠ (say) ⠠⠠⠠ (said)
⠠⠠⠠⠠ (pay) ⠠⠠⠠ (paid)
⠠⠠⠠ (today) ⠠⠠⠠ (tomorrow) ⠠⠠⠠ (tonight)
⠠⠠ (you) ⠠⠠⠠ (your) ⠠⠠⠠⠠ (yours)
⠠⠠⠠⠠ (yourself) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (yourselves)
⠠⠠ (it) ⠠⠠⠠ (its) ⠠⠠⠠ (itself)
⠠⠠⠠ (they) ⠠⠠⠠ (their) ⠠⠠⠠ (them)
⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (themselves)

11 点字略字の解説IV

1 下がり記号の短縮語 (Whole-word Lower-sign Contractions)

(1) 独立して用いるもの

⠠⠠ — be ⠠⠠ — enough ⠠⠠ — were
⠠⠠ — his ⠠⠠ — in ⠠⠠ — was

(2) 次の語に続けて用いるもの

□□ - to □□□□ - into □□□□ - by

2 使い方

下がり記号というのは、1の点も4の点も含まない記号を指す。これら9つの短縮語は、形が句読符と同じで、マスあけの仕方だけでそれらと区別しているから、混同を避けるため、用法が厳しく制限されている。

(1) be, enough, were, his, in, was の6語の短縮語は、大文字符とイタリック符のほかは前後ろを一マスあけ、他の文字・略字・句読符などと続けてはならない。ハイフンの前後ろにもこれらを用いてはならない。

(使い方の例)

→ Where were you this morning?
(あなたは、今朝どこにいましたか。)

→ I was in the room.
(私は、その部屋にいました。)

→ “The food in his knapsack will be enough for his short camping trip,” he said.
(「彼のナップザックの中の食料は、短いキャンプ旅行には十分だろう」と彼は言った。)

(使ってはならない例)

(“His history book was - or rather is - in the same place my books were,” he said.
(「彼の歴史の本は、私の本があったのと同じ場所にあったと言うよりか、むしろある」と彼は言った。)) を、

とは書けない。

(mother-in-law 義理の母) をとは書けない。

(2) to, into, by の3語の短縮語は、後ろに来る単語・略字・文字・大文字符・イタリック符などと続けて用いる。これらの前は、大文字符とイタリック符のほかは続けてはならない。

(使い方の例)

→ To be or not to be: that is the question:…
(「生きるべきか死ぬべきか、それが問題だ、…」)

→ His father was running into the room.
(彼の父親は部屋に走り込んでいった。)

→ to which → to know

⋮⋮⋮⋮ → into his ⋮⋮⋮⋮ → into two
⋮⋮⋮ → by him ⋮⋮⋮⋮ → by Tom

3 学習のヒント

- (1) be, enough, were, his, in, was の6語の短縮語は、他の短縮語や省略語と同じく、単語全体を短縮したものであるから、他の単語（短縮語や省略語で表したものを含む。）と続けることができないのは当然である。また、これを, weren't, wasn't のような派生語などの付け加えられた部分と続けることもできない。その上、下がり記号であるから、句読符やハイフンなどの他の下がり記号と続けることも許されない。大文字とイタリック符だけは、誤読のおそれがないから、続けることができるのである。
- (2) to, into, by の3語の短縮語は、後ろに他の単語などを続けてはじめて成立するので、切ったらこれらの記号を用いられないのである。いずれにしても、句読符などは続けられないし、これらの前は、他の下がり記号の短縮語と同じく、大文字とイタリック符にだけ続けられるに過ぎない。なお、⋮⋮⋮⋮や⋮⋮⋮⋮⋮⋮などの場合は、もし be や his の短縮語も用いると、すべてが下がり記号となるので、be や his の短縮語は用いない。

12 英語点字略字の解説 V

1 一マスと二マスの短縮部

a 一マスの短縮部 (One-cell Part-word Contractions)

- (1) 一マスの短縮部の中で、他に優先して用いられるもの

⋮⋮ - and ⋮⋮ - for ⋮⋮ - of ⋮⋮ - the
⋮⋮ - with

- (2) 原則として、音節をまたがない限り、単語のどの部分にも用いるもの

⋮⋮ - ch ⋮⋮ - gh ⋮⋮ - sh ⋮⋮ - th
⋮⋮ - wh ⋮⋮ - ed ⋮⋮ - er ⋮⋮ - ou
⋮⋮ - ow ⋮⋮ - st ⋮⋮ - ar ⋮⋮ - en
⋮⋮ - in

- (3) 単語のはじめの部分には用いないもの

⋮⋮ - ble ⋮⋮ - ing

b 二マスの短縮部 (Two-cell Final-letter Contractions)

- (1) 4・6の点と組み合わせるもの

⋮⋮⋮ - ound ⋮⋮⋮ - ance ⋮⋮⋮ - sion
⋮⋮⋮ - less ⋮⋮⋮ - ount

- (2) 5・6の点と組み合わせるもの

⋮⋮⋮ - ence ⋮⋮⋮ - ong ⋮⋮⋮ - ful
⋮⋮⋮ - tion ⋮⋮⋮ - ness ⋮⋮⋮ - ment
⋮⋮⋮ - ity

- (3) 6の点と組み合わせるもの

⋮⋮⋮ - ation ⋮⋮⋮ - ally

2 使い方

これら34の短縮部は、単語の中のそれに対応するつづり字を、一マスか二マスの記号に縮めて表すために用いられる。

これらは、原則として同一の音節内で用いられ、接頭語と語根の間、語根と接尾語の間お

よび複合語の各要素の間をまたいではいられない。さらに、これらの使用が、発音や意味の理解を妨げる場合には用いない。また、同じ場所で二つ以上の短縮部の使用が可能な場合には、マス数を節約できる方が選ばれる。マス数が同じであれば一マスの短縮部が優先される。中でも、and, for, of, the, with の短縮部は、他に優先して用いる。

これらの一マスと二マスの短縮部は、一部の例外を除いて、原則として句読符や点字独特の記号と続けて用いる。これらの使い方の細目は次のとおりである。

a 一マスの短縮部の場合

- (1) and, for, of, the, with の短縮部は、単語のはじめの部分、単語の中の部分および単語の後ろの部分のどの部分にも用いることができる。また、二つ以上の短縮部が用いられる可能性があるときは、節約できるマス数が同じ場合、これらが優先して用いられる。

これらの五つの点字略字の短縮語としての用法は、既に点字略字の解説 I で説明されている。これらは、一マスの短縮語として用いられる場合も、一マスの短縮部として用いられる場合も、これらに対応するつづり字は、全く同じであるが、用法は異なるので、混同しないように注意する必要がある。

(使い方の例)

⠠⠥⠃⠗⠗⠊⠗⠠⠠ Andrew ⠠⠎⠁⠗⠗⠎⠎⠠ sandy (砂地の)
 ⠠⠒⠁⠒⠗⠠ hand ⠠⠋⠊⠋⠠ form (型) ⠠⠑⠞⠋⠗⠠ effort (努力)
 ⠠⠠⠋⠠⠋⠠ office ⠠⠎⠠⠋⠠ soft ⠠⠕⠞⠗⠠ roof (屋根)
 ⠠⠠⠞⠠⠗ then ⠠⠠⠎⠠⠗ other
 ⠠⠠⠔⠠⠗⠠⠋ without (・・・なしに)

(使ってはならない例)

professor (pro-fes-sor) (教授) を⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠と書いてはならない。(※音節注意)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (southeast) は複合語であるから、そのつなぎ目をまたいで⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠とは書けない。

- (2) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ の八つは、これらで表される短縮語と短縮部の用法は異なる。また、□⠠□以外の七つは、短縮されるつづり字の範囲も、短縮語と短縮部で異なっている。

ch, gh, sh, th, wh, ed, er, ou, ow, st, ar, en, in の短縮部は単語のはじめの部分、単語の中の部分および単語の後ろの部分のどの部分にも用いることができる。ただし、en, in の短縮部と短縮部などの下がり記号が二つ以上続く場合には、前か後ろに1の点か4の点、又は1・4の点を含む記号がない限り、en, in を表す短縮部を用いない。

(使い方の例)

⠠⠠⠠⠠⠠ → church
 ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → childlike (子供らしい)
 ⠠⠠⠠⠠ → ghost (幽霊) ⠠⠠⠠⠠⠠ → eight
 ⠠⠠⠠ → she ⠠⠠⠠⠠ → dish
 ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → fisherman (漁師)
 ⠠⠠⠠⠠⠠ → three ⠠⠠⠠⠠⠠ → teeth (歯の複数形)
 ⠠⠠⠠⠠⠠ → what ⠠⠠⠠⠠⠠ → whether (〜かどうか)
 ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → educate (教育する)

:::: → liked :::: → pitcher
 :::: → touch :::: → our
 :::: → proud (誇りとしている)
 :::: → own (…自身の) :::: → how
 :::: → past (過去) :::: → pistol
 :::: → start :::: → arise (起きる)
 :::: → aren't :::: → weren't
 :::: → haven't :::: → English
 :::: → often :::: → ink :::: → think
 :::: :::: :::: :::: :::: ::::

→ Her dress is made of fine linen.

(彼女のドレスは、上等の麻で作られている。)

(使ってはならない例)

:::: (lighthouse) は、複合語であるから、そのつなぎ目をまたいで、
 :::: とは書けない。

:::: (mistake) の接頭語と語根の間をまたいで、
 :::: とは書けない。

:::: (grasshopper)

(grass-hopper) (きりぎりす) は、複合語であるから、そのつなぎ目をまたいで、
 :::: とは書けない。

:::: (rawhide) (生皮) も、同じく :::: とは書けない。

:::: (freedom) (自由) の語根と接尾語の間をまたいで、
 :::: とは書けない。

:::: (stateroom) (state-room) (特等室) は、複合語であるから、その
 つなぎ目をまたいで、 :::: とは書けない。

:::: (phenix) (不死鳥) は、音節をまたいで :::: とは書けない。

(3) ble, ing を表す短縮部は、単語のはじめには用いない。単語の中の部分、単語の後ろ
 の部分および2行にまたがる単語の次の行のはじめには用いる。ただし、接頭語が加わ
 って単語の中の部分になった場合には、もとの形を変えないため用いない。

(使い方の例)

:::: → able :::: → standing
 :::: → singing :::: → table
 :::: (※そこで行替えする場合)
 :::: → morning
 :::: (※そこで行替えする場合)
 :::: → Bible

(使ってはならない例)

:::: (blemish きず) の ble は、語のはじめだから、 :::: とは書けない。

b ニマスの短縮部の場合

ニマスの短縮部は、単語のはじめには用いない。単語の中の部分、単語の後ろの部分お
 よび2行にまたがる単語の次の行のはじめに用いる。ただし、ハイフンやアポストロフィ

一の後および接頭語が加わって、単語の中の部分になった場合には用いない。また、二マスの短縮部は、短縮語として語全体を表すために用いることは決してない。

(使い方の例)

⋮⋮⋮ → round ⋮⋮⋮ → sound
⋮⋮⋮ → dance
⋮⋮⋮⋮⋮⋮ → assistance (手伝い)
⋮⋮⋮⋮ → danced ⋮⋮⋮⋮ → dancer
⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮ → television
⋮⋮⋮⋮⋮⋮ → useless (役に立たない)
⋮⋮⋮⋮⋮⋮ → mountain
⋮⋮⋮ → count (数える) ⋮⋮⋮ → fence
⋮⋮⋮⋮ → longer ⋮⋮⋮ → song
⋮⋮⋮⋮⋮⋮ → hopeful (希望あふれる)
⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮ → faithfully (忠実に)
⋮⋮⋮⋮⋮⋮ → section
⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮ → usefulness (有用)
⋮⋮⋮⋮ → moment (瞬間) ⋮⋮⋮ → city
⋮⋮⋮⋮⋮⋮ → national (国の) ⋮⋮⋮⋮ → really
⋮⋮⋮⋮ → finally (最後に)
⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮ (※ここで行替えする場合)
⋮⋮ → vitality (活力)
⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮ (※ここで行替えする場合)
⋮⋮⋮⋮ → fundamental (根本的な)

(使ってはならない例)

⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮ (ancestor 先祖) の ance は、語のはじめだから、⋮⋮⋮⋮⋮⋮とは書けない。

⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮ (lesson) も ⋮⋮⋮⋮⋮⋮とは書けない。

⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮ (fulfill 果たす) も、同じく ⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮とは書けない。

⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮ (grey'ound) (グレーハウンド種の) の ound は、アポストロフィーの後だから、⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮とは書けない。

⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮ (com-pli-ment) (おせじ) の ment は、ハイフンの後であるから、⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮とは書けない。

⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮ (unlessed) (訓練されない) の less は、接頭語の un と結合して語の中の部分になったものであるから、⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮とは書けない。

⋮⋮⋮⋮⋮ (less) (より少ない) は、独立した単語であるから、⋮⋮⋮とは書けない。

3 学習のヒント

- (1) ⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮ の六つは、単語の一部を表す短縮部と、語全体を表す短縮語の形が同じであるが、用法は異なる。
- (2) ⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮ の七つは、これらが表す単語の最初の2文字と、短縮部が表すつづり字とは同じであるが、短縮語と短縮部の用法は、異なっている。
- (3) ble と ing を表す一マスの短縮部は、二マスの短縮部と用法が似ている。ble や二マスの

短縮部が語のはじめに用いられないのは、数符、イタリック符、大文字符、又は文字符などと混同されるのを避けるためである。また、ハイフンの後ろに、これらが用いられないのも、同じ理由によるものである。

- (4) ニマスの短縮部は、一連のつづり字（多くは接尾語）の最後の文字に3種類の点を前置したものである。
- (5) 短縮部は、読み方から先に学ぼう。書き方を正確に学ぶためには、語源や接頭語、接尾語、又は音節の区切り方を学ぶ必要があるからである。

13 英語点字略字の解説VI

1 下がり記号の短縮部 (Part-word Lower-sign Contractions)

- (1) 単語の始めの部分にだけ用いるもの

⠠⠠ - be ⠠⠠ - con ⠠⠠ - dis
⠠⠠ - com

- (2) 単語の中の部分にだけ用いるもの

⠠⠠⠠⠠ - ea ⠠⠠⠠⠠ - bb ⠠⠠⠠⠠ - cc
⠠⠠⠠⠠ - dd ⠠⠠⠠⠠ - ff ⠠⠠⠠⠠ - gg

2 使い方

句読符と同じように、1の点も4の点も含んでいない下がり記号の短縮語は、互いに続けられないことを既に学んでいる。en と in のつづり字を表す二つの短縮部だけは、下がり記号であっても、制限つきではあるが、他の1マスの短縮部と共に単語の終わりの部分にも用いることができた。しかしながら、ここで扱う10個の下がり記号の短縮部は、単語のはじめか中のどちらか一つの部分にしか使えず、その用法も厳しく制限されている。

- (1) be, con, dis を表す短縮部は、単語のはじめか2行にまたがる単語の次の行のはじめの音節に用いる。さらに、複合語のハイフンの後ろおよびダッシュやアポストロフの後ろに続けて用いる。また、大文字符やイタリック符の後ろに続けて用いる。なお、これらは、単語のはじめの部分にだけ用いるものであるから、ハイフンの後ろや次の行のはじめにこれらのつづりだけがきてその単語が終わる場合には用いない。

(使い方の例)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → believe ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → discover
⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → Congress (アメリカの国会)
⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → self-control (自制)

(使ってはならない例)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (bell) の be は、独立した1音節ではないので、⠠⠠⠠⠠とは書けない。

⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (dish) も、同じく⠠⠠⠠⠠とは書けない。

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (unbelievable) の be は、接頭語の un と結合したため、語の中の部分となったので、⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠とは書けない。

- (2) com を表す短縮部は、語のはじめか、2行にまたがる単語の次の行のはじめに用いる。この場合、com だけで1音節を構成してなくてもよい。また、大文字符やイタリック符と続けて用いる。この記号は、同じ点から構成されているので、ハイフン、ダッシュ、アポストロフと続けては用いられない。

(使い方の例)

⠠⠠⠠ → come ⠠⠠⠠ → comb (櫛)

:::: → company :::: → comedian
 :::: → comment (簡単な注釈や批評)
 :::: → comma

(3) bb, cc, dd, ff, gg を表す 5 個の短縮部は、単語の中だけに用い、単語のはじめの部分や終わりの部分には用いられない。接頭語や複合語を構成する要素が前に来たり、接尾語のうち、ed, en, er, ing が後ろに続いたため、これらが単語の中ほどに来た場合は用いてもよい。これらは、意味の理解を妨げない限り、接頭語と語根の間の音節をまたいで使用してもよい。しかし、複合語の要素の間および語根と接尾語の間はまたがない。さらに、ハイフンやアポストロフィーとは続けて用いない。

(使い方の例)

:::: → added (付け加えた) :::: → eggs
 :::: → stiffen (かたくする)
 :::: → rubbing (こすること)
 :::: → slugger (強打者)
 :::: → address
 :::: → accept (受け入れる)
 :::: → accent
 :::: → abbreviation (省略)
 :::: → effect (効果)

(使ってはならない例)

::::(add) の dd は、語の終わりの部分であるから、::::とは書けない。
 ::::(egg) も、::::とは書けない。
 ::::(wedding) の dd は、語根と接尾語の間の音節をまたいでいるから、::::とは書けない。
 ::::(effort) の場合、マス数が増えるので、::::とは書けない。
 ::::(office) の of は、ff に優先されるから、::::とは書けない。
 ::::(ebb-tide 引き潮) の bb は、ハイフンと続いているので、::::とは書けない。

(4) ea を表す短縮部は、単語の中だけに用い、単語のはじめの部分や単語の後ろの部分には用いない。接尾語を加えたり、複合語の要素が後ろに来て、単語の中の部分となれば、これを用いるが、逆に、接頭語や複合語の要素が前に来て、単語の中の部分となった場合は、これを用いない。

接頭語と語根、語根と接尾語および複合語の各要素間などの音節を越えてこれを用いない。さらに、ハイフンやアポストロフィーとは続けない。

(使い方の例)

:::: → mean :::: → beautiful
 :::: → teacup :::: → seashore (海岸)

(使ってはならない例)

::::(eat) の ea は、語のはじめの部分であるから、::::とは書けない。
 ::::(tea) の ea は、語の後ろの部分であるから、::::とは書けない。
 ::::(southeast) の ea は、複合語の要素が前に来て、単語の中の部分となった

のであるから、:::とは書けない。

::: (uneasy) の ea は、接頭語が前にきて、単語の中の部分となったものであるから、:::とは書けない。

::: (changeable) の ea は、語根と接尾語の間の音節をまたいでいるので、:::とは書けない。

::: (pineapple) の ea は、複合語の各要素の間の音節をまたいでいるので、:::とは書けない。

::: (year) の ar は、ea より優先されるので、:::とは書けない。

::: (theater) の the も、ea より優先されるので、:::とは書けない。

::: (sea-snake) (海へび) の ea は、ハイフンとつながっているため、:::とは書けない。

::: (sou'east) (south east の短縮形) の ea は、アポストロフィーとつながっているため、:::とは書けない。

3 学習のヒント

下がり記号の短縮語と短縮部を、句読符と共に前後ろのマスあけの関係で関連づけて整理するとよい。

2の点は、前に続けるとコンマになり、前後ろに続けると ea の短縮部となる。しかし、後ろにだけ続けたり、前後ろをあけたりする場合はない。

2・3の点は、前に続ければセミコロン、前後ろに続けると bb の短縮部、後ろに続けると be の短縮部、前後ろをあけると be の短縮語となる。

2・5の点は、前に続けるとコロン、前後ろ続きが cc の短縮部、後ろ続きは con の短縮部となるが、前後ろあけはない。

また、2・5・6の点も、前続きは終止符、前後ろ続きは dd、後ろ続きは dis の短縮部で、前後ろあけはない。

2・6の点は、前、前後ろ又は後ろに続ければ、en の短縮部となり、前後ろあけは enough の短縮語となる。

2・3・5の点は、前に続ければ感嘆符、前後ろ続きが ff の短縮部、後ろ続きは to の短縮語であるが、前後ろあけはない。

2・3・5・6の点は、前に続ければ閉じ括弧、前後ろ続きは gg の短縮部、後ろ続きは開き括弧となり、前後ろあけは were の短縮語となる。

2・3・6の点は、前に続けば疑問符、後ろに続けばコーテーションマークの開き、前後ろあけは his の短縮語となるが、前後ろに続けるのはインナーコーテーションマークの開き程度である。

3・5の点は、in を表すが、前後ろあけは短縮語、その他は短縮部である。

3・5・6の点は、前に続けばコーテーションマークの閉じ記号で、後ろに続ければ by の短縮語、前後ろあけは was の短縮語となるが、前後ろに続けるのはインナーコーテーションマークの閉じ程度である。

最後に、3・6の点は、前に続けば行末のハイフン、前後ろに続ければ普通のハイフン、後ろに続けるのは com の短縮部となるが、前後ろあけはない。

4 英語点字略字を学び終えて

これで、米英で普通に用いられている標準的な英語の点字を学ぶことができた。

まず、点字略字を用いない grade I の英語の点字を学んだ後、点字略字を含む grade II の英語の点字を六つの段階に分けて学んだ。最初の四つの段階は、単語全体を一マスや二マスの点字又は下がり記号に短縮して表す短縮語と、母音などを省略して2ないし5マスの文字などで単語全体を表す省略語であった。後の二つの段階は、一マスか二マスの点字又は下がり記号で、単語の一部を構成するつづり字のグループを短縮して表す短縮部であった。

なお、これらの六つの段階に点字略字を整理して、次の章に段階別一覧表を掲げた。

これで、米英の書籍や雑誌および盲学校高等部の点字の教科書を自由に読むことができ、英文を速く正確に書くための基礎的能力を習得したことになる。さらに、一層正確に書くためには、本書の後半に掲載された規則に完全に習熟することが必要である。

14 英語点字略字段階別一覧表

I 一マスの短縮語 (One-cell Whole-word Contractions)

(1) アルファベットと同じ形のもの

⠠ - but ⠠ - can ⠠ - do
 ⠠ - every ⠠ - from ⠠ - go
 ⠠ - have ⠠ - just ⠠ - knowledge
 ⠠ - like ⠠ - more ⠠ - not
 ⠠ - people ⠠ - quite ⠠ - rather
 ⠠ - so ⠠ - that ⠠ - us
 ⠠ - very ⠠ - will ⠠ - it
 ⠠ - you ⠠ - as

(2) その他の一マスの短縮語

⠠ - and ⠠ - for ⠠ - of ⠠ - the
 ⠠ - with ⠠ - child ⠠ - shall
 ⠠ - this ⠠ - which ⠠ - out
 ⠠ - still

II 二マスの短縮語 (Two-cell Initial-letter Contractions)

(1) 5の点と組み合わせるもの

⠠⠠ - day ⠠⠠ - ever ⠠⠠ - father
 ⠠⠠ - here ⠠⠠ - know ⠠⠠ - lord
 ⠠⠠ - mother ⠠⠠ - name ⠠⠠ - one
 ⠠⠠ - part ⠠⠠ - question
 ⠠⠠ - right ⠠⠠ - some ⠠⠠ - time
 ⠠⠠ - under ⠠⠠ - work ⠠⠠ - young
 ⠠⠠ - there ⠠⠠ - character
 ⠠⠠ - through ⠠⠠ - where ⠠⠠ - ought

(2) 4・5の点と組み合わせるもの

⠠⠠ - upon ⠠⠠ - word ⠠⠠ - these
 ⠠⠠ - those ⠠⠠ - whose

(3) 4・5・6の点と組み合わせるもの

⠠⠠ - cannot ⠠⠠ - had ⠠⠠ - many
 ⠠⠠ - spirit ⠠⠠ - world

⠠⠠⠠ - their

III 省略語 (Abbreviations)

(1) 最初の二マスを残して後ろを省略する場合

⠠⠠⠠ - about ⠠⠠⠠ - according
⠠⠠⠠ - after ⠠⠠⠠ - again ⠠⠠⠠ - also
⠠⠠⠠ - because ⠠⠠⠠ - before
⠠⠠⠠ - behind ⠠⠠⠠ - below
⠠⠠⠠ - beneath ⠠⠠⠠ - beside
⠠⠠⠠ - between ⠠⠠⠠ - beyond
⠠⠠⠠ - blind ⠠⠠⠠ - either
⠠⠠⠠ - friend

(2) 骨組みだけを残して、母音などを省略する場合

⠠⠠⠠ - children ⠠⠠⠠ - could
⠠⠠⠠ - first ⠠⠠⠠ - good ⠠⠠⠠ - him
⠠⠠⠠ - its ⠠⠠⠠ - letter ⠠⠠⠠ - little
⠠⠠⠠ - much ⠠⠠⠠ - must ⠠⠠⠠ - paid
⠠⠠⠠ - quick ⠠⠠⠠ - said ⠠⠠⠠ - should
⠠⠠⠠ - such ⠠⠠⠠ - today
⠠⠠⠠ - tomorrow ⠠⠠⠠ - tonight
⠠⠠⠠ - would ⠠⠠⠠ - your
⠠⠠⠠⠠ - above ⠠⠠⠠⠠ - afternoon
⠠⠠⠠⠠ - afterward ⠠⠠⠠⠠ - against
⠠⠠⠠⠠ - braille ⠠⠠⠠⠠ - great
⠠⠠⠠⠠ - together

(3) 最初の3マスを残して、後ろを省略する場合

⠠⠠⠠⠠ - across ⠠⠠⠠⠠ - almost
⠠⠠⠠⠠ - already ⠠⠠⠠⠠ - always
⠠⠠⠠⠠ - altogether ⠠⠠⠠⠠ - although
⠠⠠⠠⠠ - immediate ⠠⠠⠠⠠ - necessary
⠠⠠⠠⠠ - neither ⠠⠠⠠⠠ - o'clock
⠠⠠⠠⠠ - perhaps

(4) …self, …selves が付く語の一部を省略する場合

⠠⠠⠠⠠ - myself ⠠⠠⠠⠠ - yourself
⠠⠠⠠⠠ - himself ⠠⠠⠠⠠ - herself
⠠⠠⠠ - itself ⠠⠠⠠⠠ - oneself
⠠⠠⠠⠠ - thyself ⠠⠠⠠⠠⠠ - ourselves
⠠⠠⠠⠠⠠ - yourselves
⠠⠠⠠⠠⠠ - themselves

(5) eを省いて現在分詞を作る語の一部を省略する場合

⠠⠠⠠⠠ - conceive ⠠⠠⠠⠠⠠ - conceiving
⠠⠠⠠⠠ - deceive ⠠⠠⠠⠠⠠ - deceiving

:::: - declare :::: - declaring
 :::: - perceive
 :::: - perceiving
 :::: - receive :::: - receiving
 :::: - rejoice :::: - rejoicing

IV 下がり記号の短縮語 (Whole-word Lower-sign Contractions)

(1) 独立して用いるもの

:: - be :: - enough :: - were
 :: - his :: - in :: - was

(2) 次の語に続けて用いるもの

::□□ - to ::::□□ - into ::□□ - by

V 一マスと二マスの短縮部

a 一マスの短縮部 (One-cell Part-word Contractions)

(1) 一マスの短縮部の中で、他に優先して用いられるもの

:: - and :: - for :: - of :: - the
 :: - with

(2) 原則として、音節をまたがない限り、単語のどの部分にも用いるもの

:: - ch :: - gh :: - sh :: - th
 :: - wh :: - ed :: - er :: - ou
 :: - ow :: - st :: - ar □::□ - en
 :: - in

(3) 単語のはじめの部分には用いないもの

:: - ble :: - ing

b 二マスの短縮部 (Two-cell Final-letter Contractions)

(1) 4・6の点と組み合わせるもの

:::: - ound :::: - ance :::: - sion
 :::: - less :::: - ount

(2) 5・6の点と組み合わせるもの

:::: - ence :::: - ong :::: - ful
 :::: - tion :::: - ness :::: - ment
 :::: - ity

(3) 6の点と組み合わせるもの

:::: - ation :::: - ally

VI 下がり記号の短縮部 (Part-word Lower-sign Contractions)

(1) 単語のはじめの部分にだけ用いるもの

::□□ - be ::□□ - con ::□□ - dis
 ::□□ - com

(2) 単語の中の部分にだけ用いるもの

□□::□□ - ea □□::□□ - bb □□::□□ - cc
 □□::□□ - dd □□::□□ - ff □□::□□ - gg

15 英語点字略字アルファベット順一覧表

一マスや二マス、または下がり記号の短縮語と短縮部及び省略語のすべてをアルファベット順に整理すると次のとおりである。

about	=	⠠⠠⠠⠠⠠
above	=	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
according	=	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
across	=	⠠⠠⠠⠠⠠
after	=	⠠⠠⠠⠠
afternoon	=	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
afterward	=	⠠⠠⠠⠠⠠
again	=	⠠⠠⠠⠠
against	=	⠠⠠⠠⠠⠠
ally	=	⠠⠠⠠⠠
almost	=	⠠⠠⠠⠠⠠
already	=	⠠⠠⠠⠠⠠
also	=	⠠⠠⠠⠠
although	=	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
altogether	=	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
always	=	⠠⠠⠠⠠⠠
ance	=	⠠⠠⠠⠠
and	=	⠠⠠⠠
ar	=	⠠⠠⠠
as	=	⠠⠠⠠
ation	=	⠠⠠⠠⠠
bb	=	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
be	=	⠠⠠⠠
because	=	⠠⠠⠠⠠
before	=	⠠⠠⠠⠠
behind	=	⠠⠠⠠⠠
below	=	⠠⠠⠠⠠
beneath	=	⠠⠠⠠⠠
beside	=	⠠⠠⠠⠠
between	=	⠠⠠⠠⠠
beyond	=	⠠⠠⠠⠠
ble	=	⠠⠠⠠
blind	=	⠠⠠⠠⠠
braille	=	⠠⠠⠠⠠⠠
but	=	⠠⠠⠠
by	=	⠠⠠⠠⠠
can	=	⠠⠠⠠
cannot	=	⠠⠠⠠⠠

cc = □□☞□□
ch = ☞
character = ☞☞
child = ☞ <
children = ☞☞
com = ☞ □□
con = ☞ □□
conceive = ☞☞☞
conceiving = ☞☞☞☞
could = ☞☞
day = ☞☞
dd = □□☞□□
deceive = ☞☞☞
deceiving = ☞☞☞☞
declare = ☞☞☞
declaring = ☞☞☞☞
dis = ☞ □□
do = ☞
ea = □□☞□□
ed = ☞
either = ☞☞
en = ☞
ence = ☞☞
enough = ☞
er = ☞
ever = ☞☞
every = ☞
father = ☞☞
ff = □□☞□□
first = ☞☞
for = ☞
friend = ☞☞
from = ☞
ful = ☞☞
gg = □□☞□□
gh = ☞
go = ☞
good = ☞☞
great = ☞☞☞
had = ☞☞
have = ☞

here = ⠠⠏⠠⠗⠑
 herself = ⠠⠏⠠⠗⠑⠠⠎⠑
 him = ⠠⠏⠠⠓
 himself = ⠠⠏⠠⠓⠠⠎⠑
 his = ⠠⠏⠠⠎
 immediate = ⠠⠏⠠⠓⠠⠎⠑⠠⠎⠑
 in = ⠠⠏⠠⠎
 ing = ⠠⠏⠠⠎
 into = ⠠⠏⠠⠎⠠⠎⠠⠎
 it = ⠠⠏⠠⠎
 its = ⠠⠏⠠⠎
 itself = ⠠⠏⠠⠎⠠⠎⠠⠎
 ity = ⠠⠏⠠⠎
 just = ⠠⠏⠠⠎
 know = ⠠⠏⠠⠎
 knowledge = ⠠⠏⠠⠎
 less = ⠠⠏⠠⠎
 letter = ⠠⠏⠠⠎
 like = ⠠⠏⠠⠎
 little = ⠠⠏⠠⠎
 lord = ⠠⠏⠠⠎
 many = ⠠⠏⠠⠎
 ment = ⠠⠏⠠⠎
 more = ⠠⠏⠠⠎
 mother = ⠠⠏⠠⠎
 much = ⠠⠏⠠⠎
 must = ⠠⠏⠠⠎
 myself = ⠠⠏⠠⠎
 name = ⠠⠏⠠⠎
 necessary = ⠠⠏⠠⠎
 neither = ⠠⠏⠠⠎
 ness = ⠠⠏⠠⠎
 not = ⠠⠏⠠⠎
 o'clock = ⠠⠏⠠⠎
 of = ⠠⠏⠠⠎
 one = ⠠⠏⠠⠎
 oneself = ⠠⠏⠠⠎
 ong = ⠠⠏⠠⠎
 ou = ⠠⠏⠠⠎
 ought = ⠠⠏⠠⠎
 ound = ⠠⠏⠠⠎

ourselves = ⠠⠠⠠⠠⠠
ount = ⠠⠠⠠
out = ⠠⠠
ow = ⠠⠠
paid = ⠠⠠⠠
part = ⠠⠠⠠
people = ⠠⠠
perceive = ⠠⠠⠠⠠⠠
perceiving = ⠠⠠⠠⠠⠠⠠
perhaps = ⠠⠠⠠
question = ⠠⠠⠠
quick = ⠠⠠⠠
quite = ⠠⠠
rather = ⠠⠠
receive = ⠠⠠⠠⠠
receiving = ⠠⠠⠠⠠
rejoice = ⠠⠠⠠
rejoicing = ⠠⠠⠠⠠
right = ⠠⠠⠠
said = ⠠⠠⠠
sh = ⠠⠠
shall = ⠠⠠
should = ⠠⠠⠠
sion = ⠠⠠⠠
so = ⠠⠠
some = ⠠⠠⠠
spirit = ⠠⠠⠠
st = ⠠⠠
still = ⠠⠠
such = ⠠⠠⠠
th = ⠠⠠
that = ⠠⠠
the = ⠠⠠
their = ⠠⠠⠠
themselves = ⠠⠠⠠⠠⠠
there = ⠠⠠⠠
these = ⠠⠠⠠
this = ⠠⠠
those = ⠠⠠⠠
through = ⠠⠠⠠
thyself = ⠠⠠⠠⠠

time = ⠠⠠⠠
 tion = ⠠⠠⠠
 to = ⠠⠠
 today = ⠠⠠⠠
 together = ⠠⠠⠠⠠
 tomorrow = ⠠⠠⠠
 tonight = ⠠⠠⠠
 under = ⠠⠠⠠
 upon = ⠠⠠⠠
 us = ⠠⠠
 very = ⠠⠠
 was = ⠠⠠
 were = ⠠⠠⠠
 wh = ⠠⠠
 where = ⠠⠠⠠
 which = ⠠⠠
 whose = ⠠⠠⠠
 will = ⠠⠠
 with = ⠠⠠
 word = ⠠⠠⠠
 work = ⠠⠠⠠
 world = ⠠⠠⠠
 would = ⠠⠠⠠
 you = ⠠⠠
 young = ⠠⠠⠠
 your = ⠠⠠⠠
 yourself = ⠠⠠⠠⠠
 yourselves = ⠠⠠⠠⠠⠠

16 英語点字略字字形別一覧表

英語の点字略字のすべてを字の形を見出しとしてまとめると次の一覧表のとおりである。字の形の配列順序は、「点字の配列表」の順序に従った。

他のつづり字がある場所を示す場合には□□を用い、単語がくる場所を表す場合は*を用いている。

字の形の見出し語は、原則として同じ形のものは一つとし、その字形が表すつづり字については、短縮語を前に、短縮部を後ろに掲げてある。

⠠⠠⠠ = about
 ⠠⠠⠠⠠ = above
 ⠠⠠⠠ = according
 ⠠⠠⠠⠠ = across
 ⠠⠠⠠ = after
 ⠠⠠⠠⠠ = afternoon

⠠⠠⠠ = afterward
 ⠠⠠ = again
 ⠠⠠⠠ = against
 ⠠⠠ = also
 ⠠⠠⠠ = almost
 ⠠⠠⠠ = already
 ⠠⠠⠠ = altogether
 ⠠⠠⠠ = although
 ⠠⠠⠠ = always
 ⠠ = but
 ⠠⠠ = blind
 ⠠⠠⠠ = braille
 ⠠ = can
 ⠠⠠ = could
 ⠠ = do
 ⠠⠠⠠ = declare
 ⠠⠠⠠⠠ = declaring
 ⠠⠠⠠ = deceive
 ⠠⠠⠠⠠ = deceiving
 ⠠ = every
 ⠠⠠ = either
 ⠠ = from
 ⠠⠠ = friend
 ⠠⠠ = first
 ⠠ = go
 ⠠⠠ = good
 ⠠⠠⠠ = great
 ⠠ = have
 ⠠⠠ = him
 ⠠⠠⠠ = himself
 ⠠⠠⠠ = herself
 ⠠⠠⠠ = immediate
 ⠠ = just
 ⠠ = knowledge
 ⠠ = like
 ⠠⠠ = little
 ⠠⠠ = letter
 ⠠ = more
 ⠠⠠⠠⠠ = myself
 ⠠⠠ = much
 ⠠⠠ = must

⠠ = not
 ⠠⠠⠠ = necessary
 ⠠⠠⠠ = neither
 ⠠⠠⠠ = o'clock
 ⠠ = people
 ⠠⠠ = paid
 ⠠⠠⠠⠠ = perceive
 ⠠⠠⠠⠠⠠ = perceiving
 ⠠⠠⠠ = perhaps
 ⠠ = quite
 ⠠⠠ = quick
 ⠠ = rather
 ⠠⠠⠠ = receive
 ⠠⠠⠠⠠ = receiving
 ⠠⠠⠠ = rejoice
 ⠠⠠⠠⠠ = rejoicing
 ⠠ = so
 ⠠⠠ = said
 ⠠⠠ = such
 ⠠ = that
 ⠠⠠ = today
 ⠠⠠⠠⠠ = together
 ⠠⠠⠠ = tomorrow
 ⠠⠠⠠ = tonight
 ⠠ = us
 ⠠ = very
 ⠠ = it
 ⠠⠠ = itself
 ⠠⠠ = its
 ⠠ = you
 ⠠⠠ = your
 ⠠⠠⠠ = yourself
 ⠠⠠⠠⠠ = yourselves
 ⠠ = as
 ⠠ = and
 ⠠ = for
 ⠠ = of
 ⠠ = the
 ⠠⠠⠠⠠ = themselves
 ⠠ = with
 ⠠ = child; ch

:::: = children
 :: = gh
 :: = shall; sh
 :::: = should
 :: = this; th
 ::::: = thyself
 :: = which; wh
 :: = ed
 :: = er
 :: = out; ou
 ::::: = ourselves
 :: = ow
 :: = will
 :::: = would
 :: = □□ea□□
 :: = be; be□□; □□bb□□
 :::: = because
 :::: = before
 :::: = behind
 :::: = below
 :::: = beneath
 :::: = beside
 :::: = between
 :::: = beyond
 □::□ = con□□; □□cc□□
 ::::: = conceive
 ::::: = conceiving
 :: = dis□□; □□dd□□
 :: = enough; en
 :: = □□ff□□
 ::* = to□*
 :: = were; □□gg□□
 :: = his
 :: = in
 :::* = into□*
 :: = was
 ::* = by□*
 :: = still; st
 :: = □□ing
 :: = □□ble
 :: = ar

- ⠠⠠ = □□ong
- ⠠⠠ = □□ful
- ⠠⠠ = □□tion
- ⠠⠠ = □□ness
- ⠠⠠ = □□ment
- ⠠⠠ = □□ity
- ⠠⠠ = □□ation
- ⠠⠠ = □□ally

(2) 資料編 第2巻 (英語の基本的知識)

英語の基本的知識について

英語は、実際の具体的な場面で、聞いたり、話したり、読んだり、書いたりする活動を通して学んでいきます。ですから、楽しく根気よく、ゆっくり確実に学んで、その結果を一つずつ積み上げていくことが大切です。

しかしながら、いつも繰り返し出てくる基本的な事柄と、ときどきしか出てこない事柄とがあります。そこで、いつも繰り返し出てくる基本的な事柄を確実に学んで覚えていけば、英語を聞いたり、話したり、読んだり、書いたりするとき大変心強いものです。

この資料編の第2巻に、英語の基本的な知識となる事柄がまとめられていますので、学習の参考にしてください。

1の「英語の発音方法」では、母音や子音の発音の仕方が説明されています。資料編第1巻の5の「発音記号の書き方」と合わせて学びましょう。

2の「英語の発音とつづり字」では、子音や母音の発音とアルファベットのつづり方との関係が説明されています。資料編第1巻の2の「アルファベットと発音」と合わせて学びましょう。

3の「英語の基本文型」では、動詞を中心とした文の構造が取り上げられています。

4の「英語の修飾語と修飾される語との関係」では、飾る言葉と飾られる言葉との関係が、日本語の順序と異なっている特徴が説明されています。

5の「語源から単語を覚える方法」では、一つの基本的な語源から、幾つもの単語が派生しているのです。それらを踏まえた単語の覚え方が取り上げられています。資料編第1巻の7の「主な接頭語と接尾語」と合わせて学びましょう。

6の「中学基本英単語・熟語(品詞別・類別)」では、基本的で繰り返し出てくる単語を取り上げて、それらをまとめたり、覚えたりするために役立つようにしています。

7の「国名・地域名などに関する語」では主な国や国民、あるいは地域や都市などの名前を集めました。

- 1 英語の発音方法(平成5年3月、文部省初等中等教育局特殊教育課発行「盲学校中学部点字教科書編集資料」参照)
- 2 英語の発音とつづり字(平成5年3月、文部省初等中等教育局特殊教育課発行「盲学校中学部点字教科書編集資料」参照)
- 3 英語の基本文型(平成5年3月、文部省初等中等教育局特殊教育課発行「盲学校中学部点字教科書編集資料」参照)
- 4 英語の修飾語と修飾される語との関係(平成5年3月、文部省初等中等教育局特殊教育課発行「盲学校中学部点字教科書編集資料」参照)
- 5 語源から単語を覚える方法(平成9年3月、文部省初等中等教育局特殊教育課発行「盲学校中学部点字教科書編集資料」参照)
- 6 中学基本英単語・熟語(品詞別・類別)(平成5年3月、文部省初等中等教育局特殊教育課発行「盲学校中学部点字教科書編集資料」参照)
- 7 国名・地域名などに関する語(平成5年3月、文部省初等中等教育局特殊教育課発行「盲学校中学部点字教科書編集資料」参照)

(3) 資料編 第3巻 (英会話のための用例と単語)

英会話のための用例と単語について

最近、日本の国際化が急速に進み、英語で会話をする機会がふえてきています。

また、盲学校にもALT (Assistant Language Teacher) が来て、英語で会話をする機会がふえてきています。そのような機会に出会った場合、参考になる英会話の用例や話したい内容をあらゆる単語を多く覚えていれば自信を持って英会話を楽しむことができます。さらに、将来、外国に出かけることがあっても困らないようになるでしょう。

そこで、この資料編の第3巻では、英会話のための用例と身近なことを話題にするときに必要な単語がまとめられています。それらを覚えて英会話の上達に役立ててください。

「I 英会話のための用例」では、10の話題を取り上げ、それぞれ、英文、注(単語などの説明)、日本語訳(本書では省略)の三つの部分で構成されています。

前半の「1 学校紹介」、「2 学校案内」、「3 盲学校と点字」、「4 通学と寄宿舍」、「5 ある日の英語の授業」では、教室や校内でのいろいろな場面での英会話の用例を取り上げ、身近な話題で英会話を展開する方法になれてもらうことにしています。

後半の「6 学校給食」、「7 盲人スポーツ」、「8 夏休みの思い出」、「9 修学旅行にて」、「10 将来の夢」では、さらに発展的な話題を取り上げ、いきいきとした英会話を楽しんでもらうことにしています。

「II 英会話で活用できる単語」では、9つの項目に分類して、英会話によく用いられる単語をまとめました。

「1 盲学校で使われる身近な語」、「2 体の部分と健康に関する語」、「3 衣食住に関する語」、「4 自然現象に関する語」、「5 環境に関する語」、「6 人間関係に関する語」、「7 情報に関する語」では、日常身の回りにある身近な話題を取り上げるときに必要な単語を、類似の内容ごとに分類してまとめています。

「8 国名・地域名などに関する語」では、英会話によく出てくると思われる国名や都市名を、発音記号を付けてまとめています。また、「9 頭字略語」では、互いに関係のあるものを分類してまとめ、そのもとになる語のつづりをそえています。

I 英会話のための用例

1 Introduction

Ms. Tanaka : Good morning, everyone.

All students : Good morning, Ms. Tanaka.

Ms. Tanaka : Today we have a big news.

We have Ms. White with us today.

Ms. White, would you introduce yourself?

Ms. White : My name is Susan White.

I'm from America.

Please call me Susie.

Yumi : Nice to meet you, Susie.

My name is Takahashi Yumi.

I like English.

I'm in the English Club.

Ms. White : Oh, good. You speak English very well.

Hiroshi : I'm Kato Hiroshi.
I like baseball.
Nice to meet you, Susie.

Ms. White : Nice to meet you, Hiroshi.

Keiko : My name is Kimura Keiko.
Keiko means grace and Kimura means tree village in Chinese characters.
I like music.
How do you do, Ms. White?

Ms. White : How do you do, Keiko? So your name is a grace tree village?
That's interesting.

Keiko : I play the piano.

Ms. White : Oh, good.

Yumi : When did you come to Japan?

Ms. White : Last year.

Yumi : Is this your first visit to Japan?

Ms. White : Yes.

Yumi : How do you like Japan?

Ms. White : Oh, I like Japan very much.
I'm interested in Japanese culture.

Hiroshi : Do you like baseball?

Ms. White : No, I don't. I play tennis.
I was a member of the tennis club in my junior high school days.

Keiko : Do you like music?

Ms. White : Yes, I do. I like the Beatles.
Do you know the Beatles?

Keiko : Of course. The Beatles are still popular in Japan.
I have some of their CDs.

Ms. White : What song do you like best?

Keiko : "Yesterday" We learned it in music class.

Ms. White : How many professional baseball teams do you have in Japan, Hiroshi?

Hiroshi : Twelve. There are two Leagues, the Central League and the Pacific League. Each has six teams.

Ms. White : Do you want to go to America some day, Yumi?

Yumi : Of course. I'd like to go to America to study English conversation when I become a senior high school student.

Ms. White : I hope you will.

Ms. Tanaka : I'm afraid we must finish our class. Ms. White, we enjoyed talking with you. Thank you.

Ms. White : My pleasure.

Ms. Tanaka : That's all for today. Good bye everyone.

All students : Goodbye.

.....注.....

introduce yourself	自己紹介する
Chinese characters	漢字
Culture	文化
the Beatles	ビートルズ
professional	プロの
The Central League and the Pacific League	セントラルリーグとパシフィックリーグ
conversation	会話
My pleasure	喜んで

2 A tour around the School

- Hiroshi : Welcome to our school, Susie.
- Ms. White : Thank you.
- Hiroshi : Now I'll show you around our school.
First, I'll show you our principal's office.
Shall we go now?
- Ms. White : Sure.
- Hiroshi : Here we are.
(Hiroshi knocks at the door.)
- Mr. Suzuki : Please come in.
- Hiroshi : Mr. Suzuki, this is Ms. White. Ms. White, this is our Principal Mr. Suzuki.
- Mr. Suzuki : Nice to meet you. I hope you enjoy your visit.
- Ms. White : Thank you very much.
- Yumi : Let's go to the next room.
It's just upstairs and on the left.
The science room is in the corner.
We like experiments.
We keep gold fish in the aquarium.
- Ms. White : Oh, nice.
- Yumi : Let's go to the next room. Do you hear the piano?
Seventh graders are studying music now.
This room is the first music room. The second one is on the third floor. In addition, we have a lesson room for koto.
- Ms. White : What's koto?
- Yumi : A koto is a traditional Japanese musical instrument.
This room is used by our koto club members. It has tatami mats.
We can hear the koto after school on Thursday.
- Ms. White : Oh, wonderful.

Yumi : They will perform at our school festival. So, they've been practicing the koto very hard. Do you like music?

Ms. White : Yes. I play the piano and the guitar.

Hiroshi : Oh, that's nice. Now, let's go to the massage room.

Ms. White : Oh, they are working very hard.

Hiroshi : They want to become a massage therapist. Massage is helpful when you are tired. Try it.

Ms. White : Oh, no thank you.

Hiroshi : Then let's go to the library. We have many things. For example, there are braille books, braille dictionaries, large print books, a lot of tapes made by volunteers, regular dictionaries and so on.

Ms. White : How many braille books do you have ?

Hiroshi : About 5,000 books.

Ms. White : Wow! That's great!

Hiroshi : Let's go down and back to our classroom.

Ms. White : OK. Thank you very much.

.....注.....

principal	校長
upstairs	二階へ
experiment	実験
gold fish	金魚
aquarium	水槽, 金魚鉢
In addition	さらに
traditional musical instrument	伝統音楽の楽器
school festival	文化祭
braille books	点字の本
braille dictionaries	点字の辞書
large print books	拡大本
regular dictionaries	普通の辞書

3 School for the Blind and Braille

Hideo : May I talk with you?

Ms. White : Of course.

Hideo : Have you ever been to a school for the blind in America?

Ms. White : I never have. I'd like to know a lot about school for the blind.

Hideo : Well, it's difficult to speak English. But I'll try.

Ms. White : Thank you.

Hideo : There're about seventy schools for the blind in Japan.

Ms. White : Oh, really? You have many schools for the blind.

Hideo : Yes. But a school for the blind doesn't mean that all the students

are blind. Some of them are partially sighted.

Ms. White : That's true.

Hideo : We get almost the same education at schools for the blind as that at ordinary schools. The big difference is that we can have special instruction to make up for disabilities caused by blindness. Our school has many courses, a kindergarten course, an elementary course, a junior high course, a senior high course, and even a vocational education course.

Ms. White : Interesting. What kind of vocational education course is it?

Hideo : Acupuncture, moxibustion and massage. We call the course hiriyoka. Many blind people make their living by them.

Ms. White : I see. In America some blind students do go to schools for the blind, too. But many blind students go to local schools. And we don't have special jobs for the blind. By the way, it's difficult to read braille, isn't it?

Hideo : Not at all. We can read as fast as you can.

Ms. White : Oh, really? Your fingers must be very sensitive. And how do you write braille?

Hideo : OK. I'll show you. This is the braille plate. This template has two lines. You see? And each line has 32 cells. Would you like to try it?

Ms. White : Sure.

Hideo : Well, take this stylus.

Ms. White : OK.

Hideo : On the template you can feel 6 dots along the cell edges. Dot 1, dot 2, dot 3, dot 4, dot 5 and dot 6. A combination pattern of the dots expresses a letter. For example, the combination pattern of dot 1 and dot 2 expresses the letter b. Try it.

Ms. White : Uh, dot 1 ... dot 2 ... Is that O.K.?

Hideo : Congratulations! You've just written b.

Ms. White : Thanks. You're a good teacher.

Hideo : Thank you. Now let's read. First take the paper off the braille plate. Turn it over. And touch the dots with your finger. It reads b.

Ms. White : Oh, the dots feel strange.

Hideo : You know, braille plates are very handy. But when we want to write much faster, we use a typewriter. When we need many copies, we use a personal computer.

Ms. White : A personal computer?

Hideo : Thanks to computers, we can easily make corrections. Volunteers transcribe many books into braille using personal

computers.

Ms. White : Oh, wonderful! Today I've learned a lot. Thank you. And your English is excellent!

Hideo : Thank you.

.....注.....

the blind	盲人
partially sighted	弱視の
education	教育
special instruction	特別指導
to make up for disabilities caused by blindness	視覚障害を補うための
kindergarten course	幼稚部
elementary course	小学部
vocational education	職業教育
acupuncture	はり
moxibustion	きゅう
make their living	生計を立てる
local school	地域の学校
sensitive	感覚が鋭い
braille plate	点字板
template	点字定規
cell	マス
stylus	点筆
dot	点
combination pattern	組み合わせ
express	表す
turn ~ over	裏返す
strange	奇妙な
typewriter	タイプライター
Thanks to ~	~のおかげで
make corrections	訂正する
transcribe	点訳する
excellent	上手な

4 Coming to School and the Dormitory

Ms. White : How do you come to school, Mari?

Mari : I come to school by train.

Ms. White : How long does it take you to come to school?

Mari : About an hour.

Ms. White : Well. Do you come with your family?

Mari : No. I come by myself.

Ms. White : Oh, really? It's dangerous to walk by yourself, isn't it?
 Mari : Of course, a little. But truncated domes help us a lot.
 Ms. White : What do you mean?
 Mari : Raised bumps on the sidewalk. You can find them around this school.
 Ms. White : Oh, I get it.
 Mari : And do you know about audible traffic signals?
 Ms. White : What are they?
 Mari : Well, they're traffic signals which play melody.
 When we hear the melody, we know it is safe to cross the street.
 Ms. White : Oh, yes. I've heard it at the intersection near this school.
 Mari : Don't you have them in America?
 Ms. White : I don't know. But I see more blind people with guide dogs in America.
 Mari : Oh, really?
 Ms. White : Well. How do you come to school, Takeshi?
 Takeshi : I come to school on foot. I live in the dormitory.
 Ms. White : Is the dormitory near here?
 Takeshi : It's very convenient. It's just next to the school.
 Ms. White : Do you miss your family?
 Takeshi : Well, sometimes. But not so much. Dormitory teachers are very kind,
 and I have good roommates. Besides, I go back home every weekend.
 Ms. White : Your family looks forward to seeing you on weekends, doesn't they?
 Takeshi : Of course.
 Ms. White : OK. Enjoy your dormitory life.
 Takeshi : Thank you.

.....注.....

dormitory	寄宿舎
take	時間がかかる
by myself	1人で
truncated domes	点ブロック
raised bumps	ぼつぼつしたもの
sidewalk	歩道
audible traffic signals	音響式信号機
intersection	交差点
guide dog	盲導犬
on foot	歩いて
convenient	便利な
roommates	同室の友達

5 In English Class one day

Ms. White : Good afternoon, everyone.
 All students : Good afternoon, Ms. White.

Ms. White : How are you ?

All students : Fine, thank you, and you?

Ms. White : I'm very well, thank you.

Is anyone absent today?

Keiko : No.

Ms. White : Keiko, you were absent yesterday, weren't you?

What's the matter with you?

Keiko : I caught a cold and had a headache.

Ms. White : That's too bad. Are you all right now?

Keiko : Yes, I am.

Ms. White : By the way, it's warm today. Let's open the window.

Hiroshi, will you do it?

Hiroshi : OK. I will.

Ms. White : I can hear the birds singing now.

The sun is shining outside.

Well. What day is today, Yumi?

Yumi : It's Friday. It's a beautiful Friday.

Ms. White : I think so, too. Now, let's start English class.

Let's review the last lesson.

Please listen to the tape and then repeat after the tape.

All students : All right. (All student repeat loudly.)

Ms. White : Do you remember January, February, March, April, May, June? I'll ask you some questions.

How do you spell April?

Keiko : It's A-p-r-i-l .

Ms. White : That's right.

How do you spell January?

Keiko : It's J-a-n-a-r-y.

Ms. White : Really? It's J-a-n-u-a-r-y.

Today we are going to learn from July to December.

The seventh month of the year is July.

The eighth month is August.

The ninth month is September.

The tenth month is October.

The eleventh month is November.

The twelfth month is December.

What's the eighth month, Yumi?

Yumi : It's August.

Ms. White : Good. What's the first month of the year, Keiko?

Keiko : It's January.

Ms. White : By the way, what's the date today, Hiroshi?

Hiroshi : November the first.
 Ms. White : Oh, good. Do you know what today is, Hiroshi?
 Hiroshi : No, I don't know.
 Ms. White : Do you know, Yumi?
 Yumi : Yes. It's Japanese Braille Memorial Day.
 Japanese braille was adapted by Ishikawa Kuraji in 1890. Japanese Braille Memorial Day was made in memory of that.
 Ms. White : Thank you. Now, time is up. We must finish English class. Now say after me, "July, August, September, October, November, December."
 (All student repeat loudly.)
 Very very good.
 Goodbye, class. See you later.

All students : Goodbye, Ms. White.

.....注.....

What's the matter	どうしたの
catch a cold	風邪をひく
have a headache	頭痛がする
review	~の復習をする
repeat after	後を繰り返す
remember	覚えている
Japanese Braille Memorial Day	日本点字制定記念日
is adapted	翻案される
in memory of	~を記念して
time is up	終わりの時間です

6 School lunch

Masao : Would you like to have school lunch with us, Susie?
 Ms. White : Yes, I would. Thank you.
 Masao : Let's go to the dining room then. It is in the dormitory.
 Ms. White : OK.
 Masao : Here we are. Here's a sink to wash your hands.
 Ms. White : Oh, yes.
 Masao : This is your seat. Please sit down.
 Ms. White : Thank you. (She looks around.) What a large number of students!
 Everyone looks cheerful and friendly.
 Masao : All the students have lunch here. We enjoy lunch time.
 Midori : Today's lunch menu is fried cutlet with salads, boiled rice and miso soup. Please help yourself.
 Ms. White : Good. Would you pass me the sauce?
 Midori : OK. here you are.
 Ms. White : Thank you. This fried cutlet looks good.

Hiroshi : Can you use chopsticks?
 Ms. White : Yes, I can.
 Midori : Do you like Japanese food?
 Ms. White : Yes, I do.
 Midori : What kind of Japanese food do you like?
 Ms. White : I like sushi and tempura.
 Midori : What do you usually eat for lunch?
 Ms. White : I eat sandwiches.
 Midori : Do you like cooking?
 Ms. White : Oh, yes. I cook every day.
 Midori : Are you good at cooking?
 Ms. White : Yes, I am. I often make meat loaf, fried chicken and vegetable salad.
 How about you, Midori?
 Midori : I like cooking, too. I sometimes cook with my mother.
 Hiroshi : By the way, would you like seconds?
 Ms. White : No, thank you.
 Masao : How was our school lunch?
 Ms. White : Very good.

.....注.....

fried cutlet	カツレツ
salads	サラダ
boiled rice	ごはん
miso soup	味噌汁
chopsticks	箸
seconds	おかわり

7 Sports for the Blind

Ms. White : What did you do yesterday, Nobuo?
 Nobuo : I took part in a marathon for the blind.
 Ms. White : Marathon! Fantastic! Did you run 42.195 kilometers?
 Nobuo : No. I ran the five-kilometer race. And I won the first prize.
 Ms. White : Oh, congratulations!
 Nobuo : Thank you. I'm planning to run a ten-kilometer race next year.
 And my dream is to run a full marathon some day.
 Ms. White : Wonderful. But it's dangerous to run, isn't it?
 Nobuo : Not at all. We run accompanied by a volunteer runner.
 Ms. White : Do you run hand in hand?
 Nobuo : No. It's too uncomfortable. We hold a rope together.
 Ms. White : That's a good idea!
 Sayuri : Nobuo runs the fastest in our school.
 Ms. White : Do you like running, too?

Sayuri : No. I like table tennis for the blind. I'm in the Table Tennis Club.

Ms. White : Oh, really? How do you play?

Sayuri : A ball for blind table tennis has a bell inside it.
We hear the ball moving and hit it with the paddle.

Ms. White : Is the ball big?

Sayuri : No, the same size as ordinary balls. But it must go under the net.

Ms. White : Under the net?

Kenji : Yes. If the ball bounces high, it's difficult to hit it.

Ms. White : I see. Well. Kenji, what's your favorite sport to play?

Kenji : Oh, I love grand softball.

Ms. White : Grand softball?

Kenji : Yes. We used to call it baseball for the blind before.
The pitcher throws a handball on the ground and the batter hits it with the bat.

Ms. White : Does the ball have a bell in it?

Kenji : No. Blind players just hear the ball rolling on the ground.

Ms. White : That's great!

Kenji : And four of ten players must be blind or wear a blindfold.

Ms. White : So blind people also play grand softball. But ten players?

Kenji : Well, we need ten players—pitcher, catcher, first baseman, second baseman, third baseman, left short stop, right short stop, left fielder, center fielder and right fielder.

Ms. White : Oh, interesting. You have two short stops!
What positions must be played by blind players?

Kenji : Pitcher, third baseman and two more positions.

Ms. White : I see. Well. What sport do you like to play, Naomi?

Naomi : Floor volleyball. I'm going to play it after school.
I'm a member of the Floor Volleyball Club.

Ms. White : What is floor volleyball?

Naomi : It was called volleyball for the blind before.
But it is played not only by blind people but also by partially sighted people.

Ms. White : How many players do you have on a team?

Naomi : Six. And three of them must be blind or blind folded.

Ms. White : Can a blind player toss the ball?

Naomi : Of course, not. The ball goes under the net.

Ms. White : Sounds interesting.

Emi : Ms. White, have you ever heard of goalball?

Ms. White : No, I haven't. What's that?

Emi : It's an interesting team sport specially designed for the blind.

Ms. White : Is it like soccer?

Emi : No. It's a new sport. The game was getting more and more popular and became a Paralympic sport in 1992.

Ms. White : I see. How do you play it? Is it difficult?

Emi : No, it's a simple. It's played on a volleyball court. Each team has three players. You roll a ball on the floor into the opponent's goal. Bells inside the ball help you to know the direction of the on-coming ball. If you wear eyeshades, anyone can enjoy it.

Ms. White : How interesting!

Emi : Why don't we play it during the noon recess?

Ms. White : OK. let's practice for the next Paralympic Games.

.....注.....

take part in	参加する
marathon	マラソン
five-kilometer race	5キロのレース
the first prize	1位
congratulations	おめでとう
full marathon	フルマラソン
dangerous	危険な
run accompanied by	～の伴走で走る
hand in hand	手をつないで
uncomfortable	具合悪い
ordinary	普通の
bounce	はねる
grand softball	グランドソフトボール (盲人野球)
blindfold	目隠し
toss	トスを上げる
Paralympic sport	パラリンピックの種目
opponent's goal	相手のゴール
direction	方向
eyeshades	アイマスク
on-coming	近づいてくる
noon recess	昼休み

8 Memories of Summer Vacation

Ms. White : Summer vacation is over now.
 School begins today.
 I'm very glad to see you after summer vacation.
 Did you enjoy your summer vacation?
 Today, let's talk a little about the summer vacation.
 Where did you go, Koji?

Koji : I went to the Memorial of Miyazawa Kenji.

Ms. White : Did you go there with your family or with your friends?
 Koji : With my family.
 Ms. White : When did you go?
 Koji : We went on August 3.
 Ms. White : Did you enjoy yourselves?
 Koji : Yes. It was crowded there.
 Have you ever been there?
 Ms. White : No, I never have. I'm planning to go to the village of fairy tales
 next month. Do you know where it is?
 Koji : Yes, I do. It is near the memorial of Miyazawa Kenji. My friends bought
 the tickets. We're going there next Sunday.
 Ms. White : I think you'll find a lot of interesting books.
 How about you, Emi?
 Emi : I went to an amusement park with my friends.
 There were a lot of exciting rides. The most thrilling rides was the
 roller coaster. We enjoyed lots of shows. We saw the puppet show.
 The parade at night was fantastic.
 Ms. White : I'd like to go to there, too.
 Did you buy anything?
 Emi : Yes. I bought nice T shirts and a bag.
 Ms. White : You had a nice summer vacation.

.....注.....

amusement park	遊園地
exciting rides	わくわくする乗り物
thrilling rides	スリルのある乗り物
roller coaster	ジェットコースター
puppet show	人形劇のショー
fantastic	幻想的な

9 On a School Trip

Yumi : Excuse me, but may I talk with you?
 Traveler : Sure.
 Yumi : We're students at a junior high school for the blind.
 We are here on our school trip.
 Traveler : Where did you come from?
 Yumi : From Nagoya.
 Nagoya is between Tokyo and Kyoto.
 It takes about two hours from here to Nagoya by New Tokaido Line.
 Where did you come from?
 Traveler : From New Zealand.
 Kenji : What part of New Zealand are you from?

Traveler : From Auckland. Do you know Auckland?
 Kenji : Yes, I do. It is the biggest city in New Zealand.
 Yumi : Is this your first visit to Japan?
 Traveler : Yes, this is my first visit. I'm very interested in Japan.
 I have studied Japanese for three years.
 I've wanted to visit Japan for a long time. I love Japan very much.
 Yumi : When did you come to Japan?
 Traveler : Two weeks ago.
 Yumi : Please speak more slowly.
 Traveler : I came here two weeks ago.
 Yumi : Oh, I see. What have you seen in Tokyo so far?
 Traveler : Well, Tokyo Tower, Asakusa, the Imperial Palace, the Diet building,
 Meiji Shrine, and Ueno Zoo. Asakusa was very interesting.
 It has a Buddhist temple and a great front gate, called Kaminarimon.
 Yumi : We are going to visit Asakusa tomorrow.
 Where are you going next?
 Traveler : I'm going to go to Hiroshima tomorrow.
 Yumi : Oh, that sounds great. I have been there before.
 Well. Could you pose with us, please?
 Traveler : Why?
 Yumi : As a memory of our trip.
 Traveler : Sure.
 Yumi : I'll send a copy of the picture to you if you like. Will you write
 down your name and address here?
 Traveler : OK. Here you are.
 Yumi : Thank you very much.
 It is time to say good-bye. We've enjoyed talking with you.
 Traveler : You're welcome.
 Kenji : Have a good trip!
 Traveler : You, too. Bye-bye.
 Yumi & Kenji : Good-bye.

.....注.....

traveler	旅行者
take	(時間が) かかる
New Tokaido Line	東海道新幹線
What part of~	~のどのあたり
New Zealand	ニュージーランド
Auckland	オークランド(ニュージーランドの都市)
Imperial Palace	皇居
Buddhist temple	仏教寺院
front gate	正門

send

送る

address

住所

10 Future Dreams

Ms. White : When you grow up, what do you want to be, Emi?

Emi : I want to be a health keeper.

Ms. White : What's that?

Emi : A health keeper is a massage therapist who works at a company. He or she keeps the workers healthy. And it's quite a new job for us.

Ms. White : Oh, a kind of company health professional. Health keepers are expected to improve the workers' efficiency, aren't they?

Emi : I think so. Well. Masao, what do you want to be?

Masao : I want to work at a home for the elderly as a massage therapist. You know, there're more and more old people.

Ms. White : That's right. How about you, Takeshi?

Takeshi : I want to be an acupuncturist. I'm going to go into practice.

Ms. White : Great! You will be a therapist. You'll be very responsible for people's health. What an important job!

Emi : Yes. We'll have to study a lot about medical science at riryoka—the vocational education course. For example, anatomy, physiology, . . .

Ms. White : Sounds difficult! How long will you study in the course?

Masao : Three years. And we must pass the exams by the government.

Emi : And I hear the exams are not easy. I'm a little afraid of them.

Ms. White : So you'll have to study hard, won't you?

Takeshi : Well, we'll do our best.

Ms. White : Good luck! Well. What do you want to be, Naomi?

Naomi : I want to work at a hospital as a physical therapist. I'd like to help sick people.

Ms. White : Great! Do you have a physical therapist course at your school, too?

Naomi : No. But three schools for the blind have the course. I'd like to go one of them!

Ms. White : Well, Hiroshi, what do you want to be?

Hiroshi : I want to be a teacher of riryoka—the vocational education course. Our school has some blind teachers.

Ms. White : Well, I saw one of them in massage room. How about you, Yumi?

Yumi : I'd like to be a pianist. I've been playing the piano for ten years.

Ms. White : Who's your favorite composer?

Yumi : I love Chopin. His music is fantastic!

Ms. White : Oh, yes. What do you want to be, Midori?

Midori : I'd like to be a professional koto player.

Ms. White : Well, koto sounds very beautiful. How about you, Keiko?
 Keiko : An international telephone operator or a translator. I'd like to get a job that has something to do with English.
 Ms. White : Good. How about you, Nobuo?
 Nobuo : I want to be a system engineer. You know, computers play more and more important roles in our society.
 Ms. White : Oh, you might make useful software for the blind.
 Nobuo : I hope so.
 Ms. White : Well, Mari, what do you want to be?
 Mari : I want to be a librarian. I'd like to help blind people use libraries to get much more information.
 Ms. White : Good. How about you, Hideo?
 Hideo : I want to be a teacher.
 Ms. White : What kind of teacher?
 Hideo : An English teacher.
 Ms. White : I'm sure you will be a good teacher. Your English is very good.
 Hideo : Thanks. Kenji, what do you want to be?
 Kenji : I want to be a government officer. I'm interested in administration. Until 1991 blind students weren't allowed to sit for the exams, but today we can take the exams. So I plan to take the exams after my college graduation.
 Ms. White : Oh, really? I hope you'll succeed. How about you, Koji?
 Koji : I'd like to be a lawyer.
 Ms. White : I hear it's very difficult to be a lawyer in Japan.
 Koji : Awfully difficult. But we have two blind lawyers in Japan now. I'd like to help people in trouble. I believe where there's a will, there's a way.
 Ms. White : Super! How about you, Sayuri?
 Sayuri : I'm afraid to say that I don't know what I want to do. First, I'm going to go to college, and then I'm going to think about what I really want to do. I want to find my possibilities and realize them.
 Ms. White : Good. Students, be ambitious!

.....注.....

improve	改善する
worker's efficiency	働いている人の(仕事の)能率
acupuncturist	はり師
medical science	医学
responsible	責任のある
the exams	試験
government	政府の

physical therapist	理学療法士
composer	作曲家
Chopin	ショパン
international telephone operator	国際電話の交換手
translator	翻訳家
system engineer	システムエンジニア
society	社会
might	かもしれない
software	ソフトウェア
librarian	図書館司書
information	情報
government officer	国家公務員
administration	行政
succeed	成功する
lawyer	弁護士
awfully	かなり ひどく
where there's a will, there's a way.	意志のあるところに必ず道は開ける
super	すごい
possibilities	可能性
realize	実現する
ambitious	大志のある

II 英会話で活用できる単語

1 盲学校で使われる身近な語

ア 教科など

English	英語
Japanese	国語
contemporary Japanese	現代文
classics	古典
math(Mathematics)	数学
science	理科
biology	生物
earth science	地学
chemistry	化学
physics	物理
social studies	社会
history	歴史
geography	地理
civics	公民
ethics	倫理

music	音楽
fine arts	美術
P. E. (health and physical education)	体育 (保健体育)
industrial arts and homemaking	技術・家庭
activities for independence	自立活動
periods for integrated study	総合的な学習の時間
moral education	道徳
special activities	特別活動
club activities	クラブ活動
activities of daily living	日常生活訓練
school lunch	給食
daily program	日課
entrance ceremony	入学式
opening ceremony	始業式
closing ceremony	終業式
graduation ceremony	卒業式
school trip (excursion)	修学旅行
field trip	遠足
spring vacation	春休み
summer vacation	夏休み
winter vacation	冬休み
school festival	文化祭
school sports day	運動会
marathon	マラソン大会
swimming meet	水泳大会
midterm exams	中間テスト
end-of-term exams	期末テスト
high school entrance exams	高校入試
student council assembly	生徒総会
physical exams	健康診断
イ 教材・教具など	
book	本
textbook	教科書
notebook	ノート
pen	ペン
pencil	鉛筆
eraser	消しゴム
pencil case	筆入れ
desk	机
chair	椅子
blackboard	黒板

chalk	チョーク
bulletin board	掲示板
copy machine	コピー機
ウ 建物・組織など	
school building	校舎
classroom	教室
corridor	廊下
emergency exit	非常口
students' entrance	昇降口
fireproof shutter	防火扉
shoe cupboard	靴箱(下駄箱)
umbrella stand	傘立て
school library	図書室
principal's room	校長室
teachers' room	職員室
gym	体育館
swimming pool	プール
ground	運動場
school bus	スクールバス
エ 教職員など	
principal	校長
head teacher	教頭
pupil	生徒
student	生徒
teacher	先生
residential instructional staff	寄宿舎指導員
nurse teacher	養護教諭
officer	事務員
guardman	警備員
ALT(assistant language teacher)	外国人講師
exchange student	交換留学生
オ 視覚障害関係	
school for the blind	盲学校
braille board	点字板
stylus	点筆
pocket braille slate	懐中定規
braille paper	点字紙
white cane	白杖
folding cane	折りたたみ白杖
tactile map	触地図
voice calculator	音声電卓

Abacus	そろばん
barrier-free	バリアフリー
magnifying lens	拡大レンズ
monocle	単眼鏡
bookrests	書見台
braille typewriter	点字タイプ (ブレイラー)
wheelchair	車椅子
people with disabilities	障害者
people with visual impairments	視覚障害者
low vision	弱視
visual field (視野)	視野
vision	視力
color vision	色覚
eyesight test chart	視力検査表
guide dog	盲導犬
orientation and mobility instruction	歩行指導
Braille	点字
ink-print	墨字
enlarge letter	拡大文字
large print book	拡大本
transcribe	点訳
transcriber	点訳者
volunteer	ボランティア
braille library	点字図書館
massage	あんま・マッサージ・指圧
moxibustion	きゅう
acupuncture	はり
dormitory	寄宿舎
kindergarten course	幼稚部
elementary course	小学部
junior high school course	中学部
senior high school course	高等部
health physical therapy course	保健理療科
physio-physical therapy course	理療科
physical therapy course	理学療法科
カ その他	
Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology	文部科学省
Ministry of Health, Labour and Welfare	厚生労働省
special education	特殊教育

transactional program between ordinary school and special school

交流教育

vocational education

職業教育

multi-grade class

複式学級

2 体の部分と健康に関する語

ア 頭部

head

頭

hair

毛

face

顔

temple

こめかみ

forehead

額

eye

眼

ear

耳

nose

鼻

mouth

口

eyebrow

眉毛

chin

下あご, おとがい

gum

歯ぐき

tooth(teeth)

歯 (複数形)

tongue

舌

neck

くび

throat

のど

cheek

ほお

earlobe

耳たぶ

eyelash

まつげ

eyeball

眼球

pupil

瞳, 瞳孔

retina

網膜

optic nerves

視神経

イ 体幹

shoulder

肩

heart

心臓

lung

肺

chest

胸

breast

胸 (乳房)

back

背

stomach

胃

bowel

腸

liver

肝臓

kidney

腎臓

urinary bladder	膀胱
hip	臀部
anus	肛門
nipple	乳首
pit	みぞおち
navel	へそ
private parts	陰部
buttock	尻
ウ 手足	
arm	腕
elbow	肘
wrist	手首
hand	手
palm	手のひら
thumb	母指 (親指)
finger	指
little finger	小指
third finger	薬指
middle finger	中指
forefinger	人差指
nail	つめ
leg	脚 (きゃく)
thigh	大腿
knee	膝
ankle	足首
foot (feet)	足 (複数形)
toe	(足の) 指
fingerprint	指紋
エ 全身	
bone	骨
rib	肋骨
skull	頭蓋骨
fat	脂肪
muscle	筋肉
skin	皮膚・肌
nerves	神経
blood	血液
blood vessel	血管
organ	器官
vein	静脈
artery	動脈

オ 症状

headache
stomachache
toothache
abdominal ache
appendicitis
cancer
chills
cough
sneeze
fever
diarrhea
constipation
cold
sore throat
itchy
pain
dizziness
bone fracture
sprain
burns
muscle pain

頭痛
胃痛
歯痛
腹痛
虫垂炎
ガン
寒気
咳
クシャミ
熱
下痢
便秘
風邪
のどの痛み
かゆい
痛み
めまい
骨折
ねん挫
やけど
筋肉痛

3 衣食住に関する語

ア 衣類

clothes
dress
coat
school uniform
sweater
turtleneck sweater
cardigan sweater
jumper
shirt
long-sleeved shirt
short-sleeved shirt
T-shirt
sweat shirt
blouse
jeans
pants, trousers

衣服
婦人服, ドレス
コート, 上着
(学校の) 制服
セーター
タートルネックセーター
カーディガン
ジャンパー
ワイシャツ, シャツ
長袖シャツ
半袖シャツ
T-シャツ
トレーナー
ブラウス
ジーンズ
ズボン

slacks
 skirt
 culottes
 underwear ◀
 shoes
 sneaker
 boots
 socks
 handkerchief
 necktie
イ 食事・調理
 meal
 breakfast
 lunch
 dinner
 supper
 emergency provision
 astronaut food
 baby food
 natural food
 healthy food
 chopsticks
 disposable chopsticks
 fork
 knife
 spoon
 rice bowl
 soup bowl
 dish
 plate
 tea cup
 toothpick
 bread
 butter
 cheese
 boiled rice
 sandwich
 noodles
 meat
 vegetable
 pumpkin

スラックス
 スカート
 キュロット
 下着
 靴
 スニーカー
 ブーツ, 長靴
 短靴下, ソックス
 ハンカチ
 ネクタイ
食事
 朝食
 昼食
 夕食, ごちそう
 夕食
 非常食
 宇宙食
 離乳食
 自然食品
 健康食品
 はし
 割り箸
 フォーク
 ナイフ
 スプーン
 茶碗
 お椀
 深皿・料理
 皿
 湯飲み茶碗
 つまようじ
 パン
 バター
 チーズ
 ごはん
 サンドウィッチ
 麺類
 肉
 野菜
 かぼちゃ

potato	ジャガイモ	じゃがいも
onion	タマネギ	たまねぎ
cucumber	キュウリ	きゅうり
carrot	ニンジン	にんじん
eggplant	ナス	なす
fruit	果物	果物
apple	りんご	りんご
orange	オレンジ	オレンジ
strawberry	いちご	いちご
egg	卵	卵
mushroom	きのこ	きのこ
suger	砂糖	砂糖
salt	塩	塩
pepper	こしょう	こしょう
soy sauce	しょうゆ	しょうゆ
vineger	酢	酢
milk	牛乳	牛乳
tea	紅茶	紅茶
oolong tea	ウーロン茶	ウーロン茶
coffee	コーヒー	コーヒー
soup	スープ	スープ
stew	シチュー	シチュー
juice	ジュース	ジュース
dessert	デザート	デザート
ice cream	アイスクリーム	アイスクリーム
baked	焼いた (パンなど)	焼いた (パンなど)
broiled	焼いた (肉や魚などを直火で焼く)	焼いた (肉や魚などを直火で焼く)
blended	混ぜ合わせの	混ぜ合わせの
boiled	煮た・ゆでた	煮た・ゆでた
chilled	冷やした	冷やした
chipped	刻んだ	刻んだ
chopped	切った	切った
fried	フライにした	フライにした
frozen	凍らせた	凍らせた
grilled	あぶった	あぶった
roasted	蒸し焼きにした	蒸し焼きにした
sliced	薄切りにした	薄切りにした
smoked	薫製にした	薫製にした
steamed	ふかした	ふかした
peeled	皮をむいた	皮をむいた
dipped	漬けた	漬けた

coated	まぶした
microwaved	電子レンジで調理した
ウ 住居	
living room	居間
dining room	食堂
bedroom	寝室
bathroom	風呂場
bathtub	浴槽
fire alarm	火災報知器
kitchen	台所
sink	流し, 洗面台
toilet, restroom, bathroom	トイレ
entrance hall	玄関
reception room	応接間
gate	門
garden	庭
fence	塀・垣根
nameplate	表札
doorbell	呼び鈴
mailbox	郵便受け
curtain	カーテン
wall	壁
ceiling	天井
floor	床
steps	階段
spiral staircase	らせん階段
hallway, corridor	廊下
balcony	ベランダ
window	窓
bay window	出窓
screen door	網戸
roof	屋根
garage	車庫
storeroom	物置部屋
apartment	アパート, マンション
mansion	大邸宅
condominium	分譲マンション

4 自然現象に関する語

sun	太陽
moon	月

star	星
sky	空
mountain	山
sea	海
earth	地球・地面
weather	天気
climate	気候
weather forecast	天気予報
cloud	雲
rain	雨
snow	雪
wind	風
storm	嵐
fog	霧
frost	霜
hail	あられ
thunder	雷
rainbow	虹
earthquake	地震
typhoon	台風
tornado	竜巻
cold	寒い
cool	涼しい
warm	暖かい
hot	暑い
muggy	蒸し暑い
chilly	冷たい・冷える
dry	からっとした
humid	じめじめした
fair	晴れている
sunny	日のよく照る
cloudy	曇った
rainy	雨の降る
windy	風の吹く
snowy	雪の降る
stormy	嵐の
foggy	霧が深い
breeze	そよ風
blizzard	吹雪
warning	警報
storm warning	暴風警報

tidal wave warning
flood warning
tsunami warning
snowstorm warning
thick fog warning

波浪警報
洪水警報
津波警報
暴風雪警報
濃霧警報

5 環境に関する語

environment
ecology
global warming
green house effect
air pollution
acid rain
tropical rain forest
eco-friendly car
plastic bag
recycle
power plant
nuclear energy
world heritage

環境
エコロジー
地球温暖化
温室効果
大気汚染
酸性雨
熱帯雨林
環境に優しい車
ビニル袋
リサイクル
発電所
核エネルギー
世界遺産

6 人間関係に関する語

family
parents
father
mother
grandfather
great grandfather
grandmother
great grandmother
grandchild
great grandchild
husband
wife
son
daughter
brother
sister
uncle
aunt
cousin

家族
両親
父親
母親
祖父
曾祖父
祖母
曾祖母
孫
ひ孫
夫
妻
息子
娘
兄弟
姉妹
おじ
おば
いとこ

nephew	甥
niece	姪
second cousin	はとこ, またいとこ
baby	赤ちゃん
child (children)	子ども (複数)
man	男
woman	女
birth	誕生, 出産
marriage	結婚
death	死
occupation	職業
public official	公務員
government officer	国家公務員
telephone operator	電話交換手
translator	翻訳家
teacher	先生
massage therapist	マッサージ師
acupuncturist	はり師
moxibustion therapist	きゅう師
professor	教授
lawyer	弁護士
doctor	医者
dentist	歯科医
nurse	看護婦
care worker	介護福祉士
engineer	技術者
farmer	農業経営者
police officer	警察官
journalist	新聞記者
novelist	小説家
artist	芸術家
bakery	パン屋
florist	花屋
singer	歌手
entertainer	芸能人
writer	作家
principal	校長
vice-principal	教頭・副校長

7 情報に関する語

Internet インターネット

e-mail	電子メール (を送る)
e-pal	電子メール友だち
homepage	ホームページ
run	プログラム中の命令を実行する
key-board	キーボード
password	パスワード
access	(コンピュータシステムから) 情報を取り出したり入力したりする
site	サイト(インターネットのウェブ)
scan	(コンピュータに)光学式スキャナを使って画像を取り込む
load	(コンピュータに)データを読み込む
computer virus	コンピュータウイルス(データやシステムに害を及ぼすプログラム)
link	つなぐ
click	クリックする
enter	(コンピュータ)で入力する
surf	(インターネット上で)興味ある記事を探して次から次へと中をのぞく
address	アドレス(記憶装置内部のデータの記憶されている場所を示す番号)
hardware	ハードウェア
software	ソフトウェア
provider	プロバイダ(インターネットへの接続サービスを行っている会社)
security	セキュリティ
cell(ular) phone	携帯電話
fax	ファックス(を送る)
digital	デジタル(の)

8 国名・地域名などに関する語 (平成5年3月 文部省初等中等教育局特殊教育課発行「盲学校中学部点字教科書編集資料」参照)

9 頭字略語

A. D.	Anno Domini	西暦, 紀元
B. C.	Before Christ	紀元前
A S E A N	Association of South-East Asian Nations	東南アジア諸国連合
A P E C	Asia-Pacific Economic Cooperation Conference	アジア太平洋経済協力会議
I L O	the International Labor Organization	国際労働機関
U N E S C O	United Nations Educational Scientific and Cultural Organization	国連教育科学文化機構
W H O	World Health Organization	世界保健機構
N A T O	North Atlantic Treaty Organization	北大西洋条約機構
U N	United Nations	国際連合
N G O	Non Government Organization	非政府機関
I R C	International Red Cross	国際赤十字

J R C	Japanese Red Cross	日本赤十字
I M F	International Monetary Fund	国際通貨基金
I O C	International Olympic Committee	国際オリンピック委員会
I P A	the international phonetic Alphabet	国際音標文字
O P E C	Organization of Petroleum Exporting Countries	石油輸出国機構
O E C D	Organization for Economic Cooperation and Development	経済協力開発機構
ODA	Official Development Assistance	政府開発援助
P K O	Peace Keeping Operation	国連平和維持活動
P K F	Peace Keeping Force	国連平和維持軍
U P U	Universal Postal Union	万国郵便連合
G N P	gross national product	国民総生産
J I S	Japanese Industrial Standard	日本工業規格
A I D S	acquired immune deficiency syndrome	エイズ, 後天性免疫不全症候群
A T M	automatic teller machine	現金自動預け入れ・支払機
B G M	background music	背景音楽
B S	broadcasting satellite	放送衛星
C D	compact disc	コンパクトディスク
M D	mini disc	ミニディスク
K O	knockout	(ボクシング) ノックアウト
M V P	most valuable player	最優秀選手
N G	no good	やり直し・撮り損じ
P T A	Parent-Teacher's Association	父母と教師の会
P K	penalty kick	ペナルティキック
P R	public relation	衆知活動・ピーアール
S F	science fiction	空想科学小説
U F O	Unidentified flying object	未確認飛行物体
I C	integrated circuit	集積回路
E U	European Union	欧州連合
U. S. A.	United States of America	アメリカ合衆国
F B I	Federal Bureau of Investigation	連邦捜査局
N A S A	National Aeronautics and Space Administration	航空宇宙局
A T C	automatic train control	自動列車制御
V I P	very important person	最重要人物
V T R	video tape recorder	ビデオテープレコーダー
T V	television	テレビ
C A T V	cable television	有線テレビ
D J	Disc Jockey	ディスクジョッキー
O H P	Overhead projector	オーバーヘッドプロジェクタ

LL	language laboratory	語学実習室・ラボ
VHF	very high frequency	超短波
UHF	Ultra high frequency	極超短波
LPG	Liquefied Petroleum Gas	液化石油ガス
UV	ultraviolet	紫外線
PPM	Parts Per Million	100万分の1
WC	water closet	トイレ
AM	ante meridiem	午前
PM	post meridiem	午後
PS	post script	追伸
RAM	random access memory	データの書き込みができる記憶装置
ROM	read only memory	読み出し専用メモリー
IT	information technology	情報技術
WWW	world wide web	ワールドワイドウェブ
CG	computer graphics	コンピュータグラフィックス
LAN	local area network	ラン, 企業内通信網

(4) 資料編 第4巻, 第5巻 (英和単語集)

盲学校中学部英語資料編の第4巻と第5巻は, 英和単語集です。

この英和単語集には, 中学校の英語学習に必要なほとんどすべての単語約1,800語を, アルファベット順に収めてあります。さらに, 資料編第4巻と第5巻を通しページにしてあるとともに, 右ページ上部欄外に, そのページの最初の単語を記してあります。なお, そのページに新たな見出し語がない場合は, そのページで説明されている単語を記してあります。

1 特徴と使い方

(1) 発音記号

この英和単語集では, 発音記号は原則として万国音標文字で示してあります。また, 米・英の発音が異なる場合には, 区別して示してあります。

なお, 弱い発音の r は, [r] と表してあります。

(2) つづり字

つづり字も原則として米・英の両方を併記してあります。前が米式で, 後が英式です。

例 color (米), colour (英)

(3) アクセント

発音記号には, 最も強いアクセントの母音の前に第1ストレス符 (ˈ) がつけてあります。

また, 2番目のアクセントの母音の前には, 第2ストレス符 (ˌ) がつけてあります。

(4) 例文

単語, 熟語の後に, 必要と思われる場合には, 覚えやすい例文をつけてあります。その場合, 例文の前に↔を記してあります。例文を通して単語や熟語の使われ方を理解してください。

(5) 同意語, 反意語, 対語

同意語, 反意語, 対語は, 単語を覚えるのに便利なように個々の訳語のすぐ後に入れてあります。同意語には, 訳語をつけてありませんが, 反意語, 対語には, 訳語をつけてありま

す。

(6) 語形変化

見出し語の次に動詞の不規則変化形、形容詞・副詞の不規則変化形や more, most のつく形を明示してあります。また、名詞の不規則複数形も示してあります。さらに、人称代名詞の語形変化は、主格の単語の次にまとめてあります。

2 凡例

(1) 品詞

名	=名詞	代	=代名詞	動	=動詞	助	=助動詞
形	=形容詞	副	=副詞	前	=前置詞	接	=接続詞
間投	=間投詞	冠	=冠詞	略	=略語		

(2) 言語用法

米=米語 英=英語

(3) 百科用語

動物=動物名 植物=植物名 虫=昆虫 鳥=鳥類

(4) その他

同意	=同意語	反	=反意語	対	=対語	→	=派生語
熟	=熟語	複数	=複数形	参考	=参考事項		

3 括弧の使い方

英和単語集の中では、「2 凡例」の中に掲げた略語はすべて () でくくってあります。そのほかに次のような場合も () でくくってありますので、その場その場で判断してください。

- (1) 訳または置き換え可能な部分
- (2) 文法用語
- (3) 文法的説明
- (4) 英文中の省略可能な部分
- (5) 英文中の置き換え可能な部分